

第十回全國菓子大博覽會記念

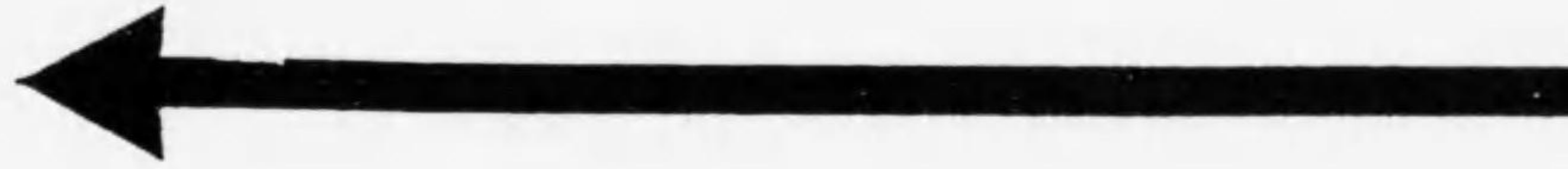
宮城縣菓業

特224

293

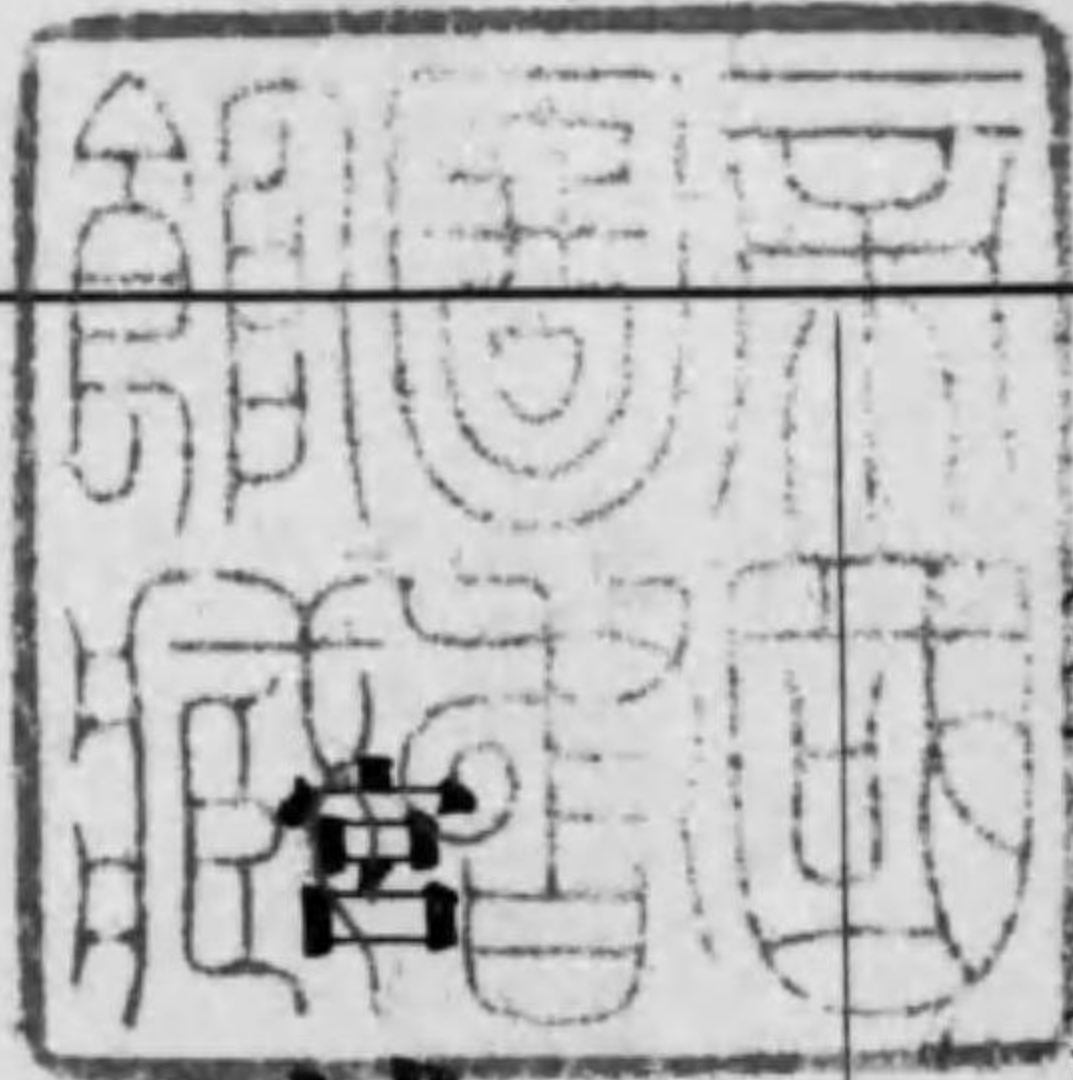


始



東北菓子食料新聞社編纂

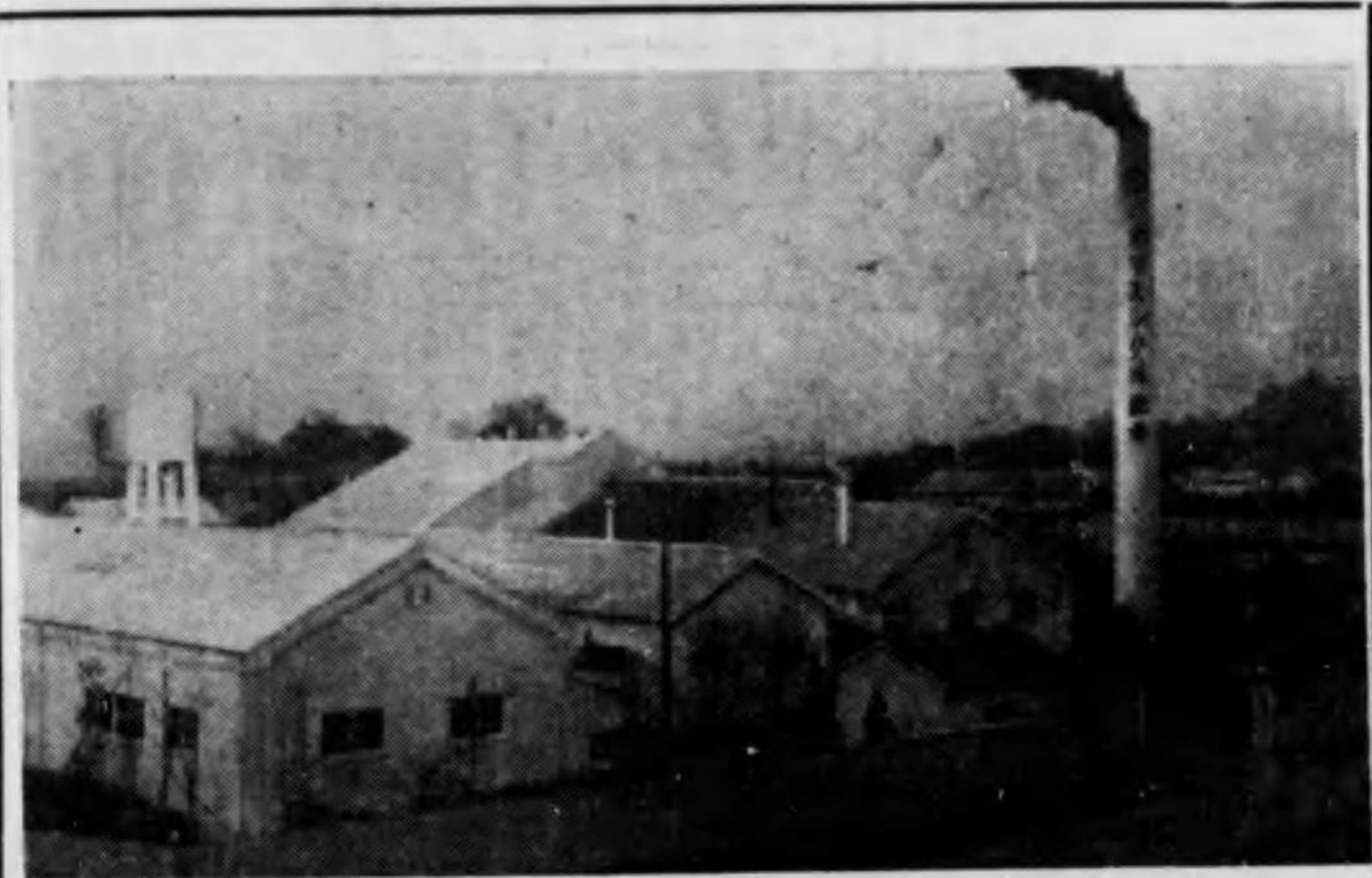
特224
293



第十回全國菓子大博覽會記念

宮城縣菓業要覽

東北菓子食料新聞社編纂



パンの良否は

酵母に在り

優良パンは

オリエンタルイースト

に依る

オリエンタル酵母工業株式会社

工場 東京市板橋區志村一七六〇

電話赤羽 二 三 八 番

オリエンタル酵母販賣所

東京市神田區錦町二ノ六

電話神田 (四三) 七 番
一四三七番

東北菓子食料新聞
臨時增刊

宮城縣菓業要覽目次

仙臺及松島名所案内.....	一一四
宮城縣下業界現勢.....	六
仙臺業界現勢及名菓.....	七
組合及菓業團體要覽.....	三
全菓博解説.....	二七
菓子業者要覽.....	二七
仙臺市.....	二九
石巻市.....	五一
宮城郡.....	五三
牡鹿郡.....	五五
桃生郡.....	五七
本吉郡.....	五九
登米郡.....	六一
栗原郡.....	六一

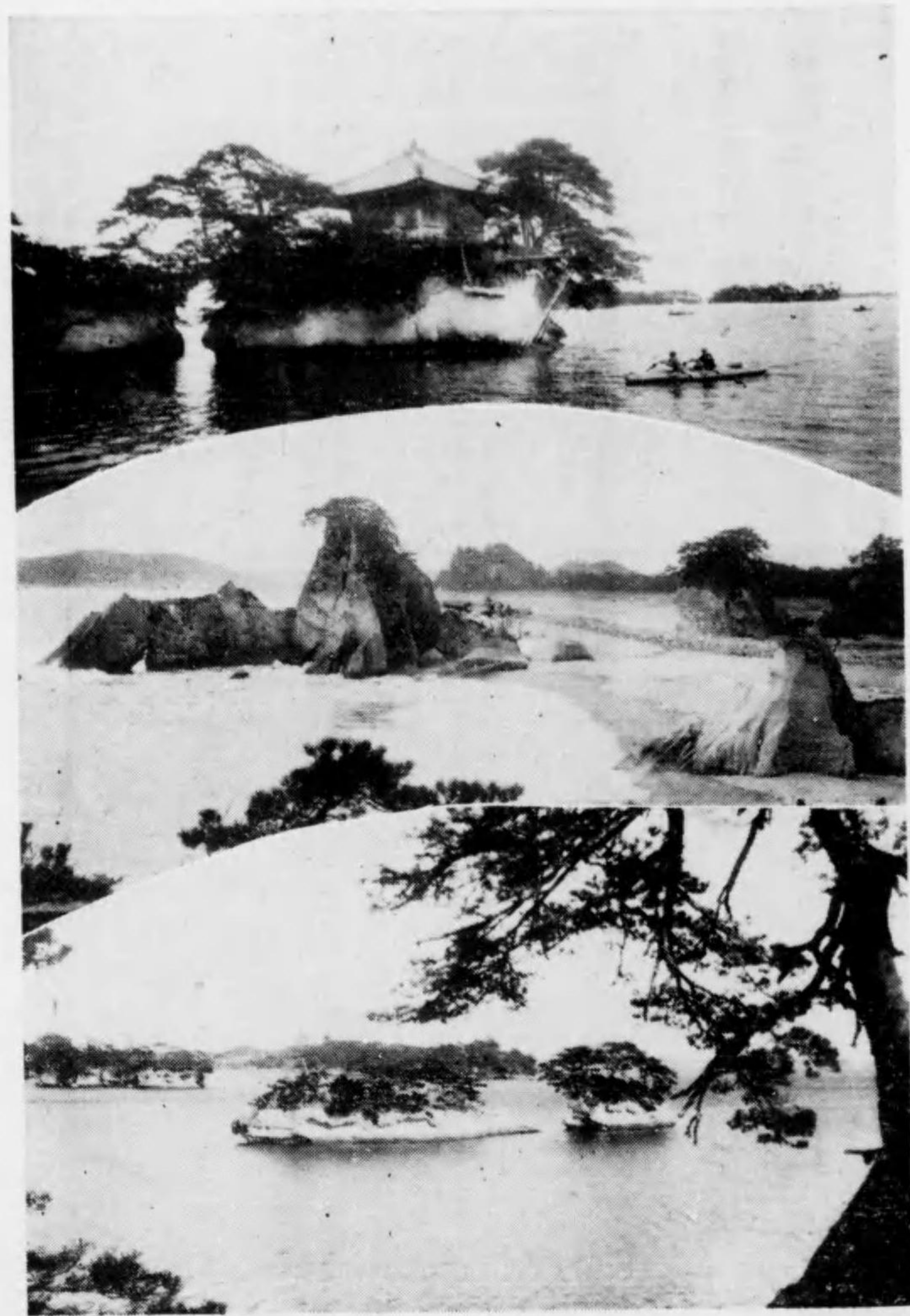
玉造郡.....	六四
加美郡.....	六六
志田郡.....	六六
遠田郡.....	七二
黒川郡.....	七三
名取郡.....	七四
柴田郡.....	七五
刈田郡.....	七七
伊具郡.....	七八
亘理郡.....	七九
宮城縣下登録名菓一覽.....	八三
製菓會社、問屋、製造家一覽.....	九三
關係業者要覽.....	九四
紹介欄.....	一〇一

宮城縣菓業要覽

第十回全國菓子大會出品

東京府立女子師範學校印刷部印刷

鳥子双(下) 山老不(中) 堂大五(上) 光風の鳥松



全園菓大博覽會授賞式場 宮城縣廳



大同大博覽會場 宮城縣工商獎勵館全景



（部幹合組臺仙）員役會覽博大子菓國全

長會贊協

長會副

同顧問
山田正一氏



組合相談役
江刺運治郎氏

長會副會贊協

長事理

長部査審長事理副



氏藏重林小 長合組副



氏三正磯平 長合組



氏助民藤齊 長合組副

事幹任常會贊協

長部出品

長部計會



氏三文藤遠 同



氏助藤寺野小 員議評

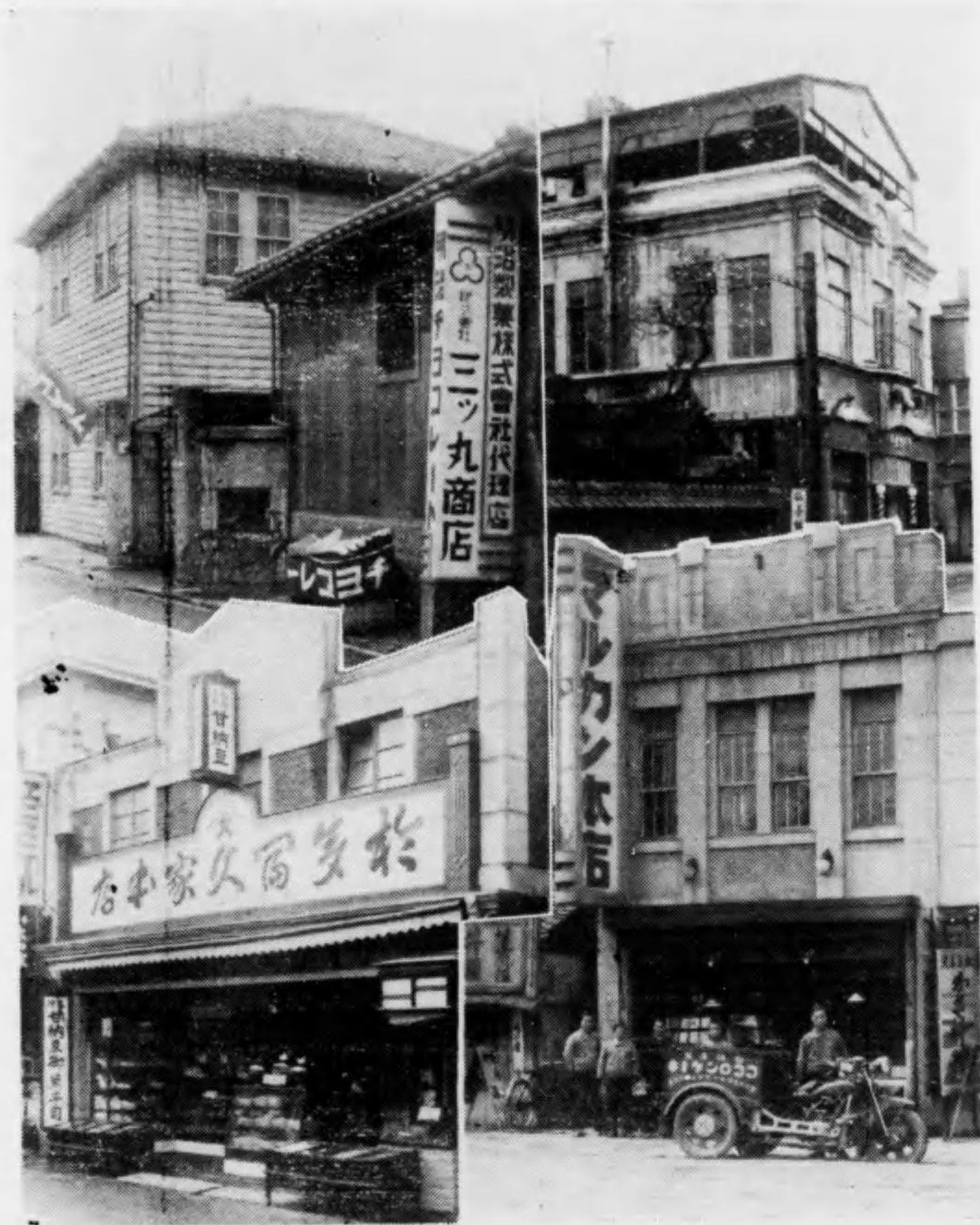


氏七勘邊渡 計會

著名業者店舖

店本ンカルマ(下右)
家福多於(下左)

社會賣販北東永森(上右)
店商丸三社會式株(上左)



著名業者店舗

(右上)南町日進堂



(左上)日進堂本店



(中)帝國製菓工場

(下)石巻清香軒



序

東京菓子同業組合評議員會議長

金澤彌三郎

由來東北は地勢、風土の關係で兎角中央ととの連携、刺戟に乏しく文化的或は産業的に進展の度極めて遅々たる状態であるが、我が業界に於て觀ても亦之の例に洩れず他地方業界に比し一段遜色の点あること即ち製造業者乃至問屋業者共に全国的に傑出せる業者の尠きことは洵に遺憾とする處である。然し乍ら小賣業者中には地方特有の名菓を市販し其の産額業績に見るべきもの多く地方産業界に重視されつゝある業者尠く無き現状に顧みても、東北地方業者が技術、經營の点に於て決して他地方業者に比較して優るとも劣らざる素質を有するものであることを立證するものである。東北地方業界の不振は要するに東北人の通有性たる積極的精神の欠除に起因する處多く故に地方業界の振興は先づ第一に東北地方業者が従來の如き小成に甘んずるの弊を去り廣く眼界を全國の情勢に注ぎ以て優秀なる製品の産出、普及に努力するなれば斯業の進展期して俟つべきものあることは吾人の信じて疑はざるところである。

東北地方業界の改善向上を期するには先づ東北業界の偽はらざる實狀を直視し仍て來る處の弊を除去匡正して始めて完璧を期すべくこの意味に於て東北菓子食料新聞社の全國菓子大博覽會記念出版、宮城縣菓子要覽の編纂はけだし機宜を得たる企劃と云ふべく東北業界の向上を目指す菓子博學催の意義を更に深からしむるに足るものであらう。

仙臺名所と舊蹟

〔榴ヶ岡〕 市の東端に在る小丘で、東公園とも云ふ、昔は紅榴が咲き亂れこれを衣に摺つてつゝち摺と名付けたことが風土記に見えてゐるが今はたゞ見渡す限り枝垂れ櫻の老樹が枝を交え、花の盛りには文字通り花のトンネルとなり頗る美觀を呈し花見客が雲集して大觀樂境と化する境内の「釋迦堂」は伊達三代綱村公が生母三澤初子（芝居の政岡）の冥福の爲元祿八年に建立したもので同境内の「天神社」は寛文十七年綱村公の建立したものである。

〔三澤初子の墓〕 「俗稱政岡の墓」は榴ヶ岡の南西孝勝寺の裏手にある。寺内には所謂政岡の木像や衣類調度三百余点を藏し觀覽の便がある。戯曲の政岡とは假空の人物で幼主を擁護したのは初子自身であつて政岡としたのは初子に仕へた淺岡を擬したものであるといふ。初子は三澤清長の女で伊達綱村公の生母で貞享三年四十八才で歿した。

〔宮城野〕 榴ヶ岡に接する東南一帯の廣野で昔は萩と鈴虫の名所であつたが今は練兵場となり昔の優雅な面影はない。古來この宮城野の美を謳つた詩歌は數限り無く、名物宮城野の萩が往古遙々京都の禁庭に移し植えられたことが古書に見えてゐる。原の北方には『乳銀杏』と稱する高さ十丈周圍二丈余、枝から數條の氣根が垂れ其の形狀が婦人の乳房に酷似してゐるのでこの稱がある。樹齡千二百余年といはれ其の側に姥神が祀つてあつて乳の出ない人が祈願をこめれば乳が出るといふので參詣者が絶えない。

〔國分寺薬師堂〕 宮城野原の南、木の下といふ處に在る。聖武天皇勅願の國分寺の一である十八大伽藍も今は荒廢して薬師堂側の一字に其の名を止めてゐる「薬師寺」は十八大伽藍の一堂で本尊は閻淨檀舎の秘佛、運慶作の薬師瑠璃光如來を安置する堂宇は、慶長十年政宗公の再建したもので特別保護建造物に指定されてゐる。

〔大年寺〕 往古の茂ヶ崎城の址で受宕山の南にあり。綱村公以下伊達家累代の墳墓がある寺は鐵牛和尚の開山で兩足山と稱し元祿元年綱村公の建立に係るもの當時は松島の瑞巖寺と併稱されたものであつたが現今はその壯觀を有してゐない。

〔愛宕山〕 仙臺驛より南へ約二十丁廣瀬川に臨む斷崖の高丘で向山とも云ふ。丘上に愛宕神社、虚空藏堂がある。丘上よりは仙臺市内を一眸に展望することが出来、右方仙臺平野を越えて遙かに渺茫たる蒼海と金華山の靈峰を望み、左方近くに泉ヶ嶽、七ツ森の群峰を遠くに栗駒嶽の峻嶺を望む、眼界廣濶、展望佳絶登臨の客四時絶えない仙臺第一の展望臺である。

〔瑞鳳殿〕 仙臺市の西方東北帝大の對岸に老杉鬱蒼たる高丘がある。經ヶ峰といつてこゝには伊達家三代の靈廟がある「瑞鳳殿」は伊達政宗公の靈廟で二百八十年前二代忠宗公の造營に係り、神社と寺院の建築様式を巧みに取り合せた建物で結構壯麗、日光廟にも優るといはれる奥の院には衣冠束帶せる政宗公の木像が安置されてゐる。「感仙殿」は三代綱村公の廟である。此の兩廟の樓門廊廡は明治初年官軍の爲無下に破壊されて今は跡方も無い參道の中途左側に「政宗山瑞鳳寺」がある政宗公の靈牌を安置してある。

〔仙臺城址〕 (青葉城) 市の西南廣瀬川を隔てた一帯の丘陵鬱蒼たる老樹新木の生ひ茂りたる樹の間に樓門疊壁を隠見する所、是れ伊達氏の居城青葉城の址である。本丸は慶長六年藩祖政宗公之を築き二の丸は二代

忠宗公寛永十五年に増營したものである。明治元年城址を返上、その後建物は或は毀れ或は火災で烏有に歸した。災厄を免れた櫓「大手門」と「寅の門」「巽の門」とが纔かに昔日の偉觀を止めてゐる。大手門は文祿政韓の役、秀吉公の本陣肥前名護屋の城門であつたが政宗公が申し受けて此處に移したもので菊桐の金紋は後水尾天皇から賜つたものであるといふ。現在二の丸址は「第二師團司令部」が置かれてある。

〔天主臺址〕 舊本丸城廓址には招魂社と招忠碑「高さ六十七尺塔上に金鶏を戴く」が建て、ある。眺望によく春秋の行樂地として杖を曳く者が多い。

〔林子平の墓〕 市の北西、伊勢堂下龍雲院内に在り、寛政年間憂國赤心の大先覺者として海國兵談、三國通覽を著し遂に幕府の怒に會ひ幽遷一年寛政五年五十六才にて歿す。

〔支倉六右工門の墓〕 三百年前伊達政宗公海外發展の大抱負の一端の現れとして遠くローマに特使として派遣された國際交通の先人である。元和八年五十二才で歿した。

〔縣廳前〕 市の中心より稍北方勾當臺一帯には新装の宮城縣廳舎の堂々たる建物を始め、白亜モダンの市役所を其他、宮城縣商工獎勵館、同圖書館、仙臺警察署、齋藤報恩會博物館等の大建築物多く、縣廳内には舊仙臺藩の學校、養賢堂が現存してゐる。

〔芭蕉の辻〕 宮城縣の里程元標として市の中央に在り昔は辻の四ツ角に白壁青瓦の宏壯なる城廓風の店舗があつたが今は僅かに西北角の一廓を残して其俤を偲ぶのみである。附近國分町、大町通りには銀行會社構比し仙臺のビジネスセンターを形成してゐる。

〔東一番丁通り〕 定禪寺通りより南へ東北帝大に至る北南に亘る東一番町は仙臺市中第一の繁華な街で三越支店、藤崎等のデパートを始め一流の商舖櫛比しカフェー、料理店等多く夜は五彩のネオン眩ゆき大觀樂境

で仙臺の銀座と稱されてゐる。

松 島 遊 覧 案 内

〔松島海岸〕 仙臺驛前より三十分毎に發車する宮城電鐵で約五十分日本では珍らしい臨海沿線を快走して電鐵松島驛に到達する。松島の中心は松島海岸である數々の史蹟名所があり旅館、土産品賣店、飲食店等が軒を並べ、遊園地、水族館等がある。

〔五大堂〕 海岸廣場の東端の島に在り橋が架つて陸地より自由に行通が出来る。堂は五大明王の像を安置し建築は慶長年間伊達政宗の再興にかゝり方三間單層屋根寶形造本瓦葺精巧で風致とよく調和した好建築物で國寶に指定されてゐる。

〔瑞巖寺〕 臨濟宗妙心寺派、もと圓福寺と稱したが後荒廢に傾いたのを政宗公が再興し慶長十四年に造營成り、寺號もこの時改めて伊達家の菩提寺となつた。本堂は奥行十四間一尺間口二十一間四尺、側に僧寮、齋厨を添へ前を正門とし廊長をめぐらし鐘樓、鼓閣を附し規模廣濶、桃山式建築の善美を盡したるもの明治三十三年國寶に指定された。

〔觀瀾亭〕 埠頭西方の海岸小丘の上に在り伊達政宗が豊臣秀吉公より桃山城の一字を貰ひ、二代忠宗公の代に茲に移建したと傳へられてゐる。仙臺藩主遊息の亭であつた狩野山樂筆の襖や色々の珍奇な書畫を藏して

ゐる。

〔雄 島〕 水族館前より小松崎の後を廻り磯際を行き朱の欄干ある渡月橋を渡る。島の南端にある『賴賢碑』は徳望高かつた賴賢老師の子弟が鎌倉時代に建てたものである又島の東南端に俳聖芭蕉の句碑がある。

〔朝よさを誰まつしませを片心〕 この島は眺望よく海岸一帯から五大堂や双子島、後浦島、引通島等を目のまへに眺めることが出来る。

松島を觀賞するには遊覧船、展望地とに依るが展望地としては世に四大觀として 北に「富山」の麗觀、南に『多聞山』の美觀、東に「大鷹森」の壯觀、西に「扇谷」の幽觀がある。

〔富 山〕 高さ一一六米八「松島の景在富山」と謳はれてゐる。松島海岸から東に石巻街道を経て南へ小徑に入り急坂を上ると大仰寺があり側に展望臺があり松島、金華山一帯の眺望を恣にする事が出来る。

〔大鷹森〕 高さ一〇五米八で松島諸島中で一番大きな宮戸島に在りこの山の特長は四方を悉く望み得る迄で東に牡鹿半島、金華山から太平洋の彼方、西南盪釜から奥羽山脈の連峰を望見し眼下の松島は盆景さながらで其の展望まさに四大觀の第一を誇つてゐる。

〔大觀山〕 觀月樓背後の高丘で往年徳川慶喜公此地に遊びて命名せる所なり。灣内遠近の島嶼を一眸に收むべく風光佳絶、眞に大觀の名に背かず、嘗て大正天皇東宮におはせし時、東北御巡啓に際し松島御探勝の際にも特に御登臨あらせられたり。山上に樓閣あり伊藤博文公の命名せる白鷗樓之なり別に貴賓館あり、秩父宮、高松宮殿下を始め有栖川宮、閑院宮、伏見宮、東久邇宮、賀陽宮、北白川宮、竹田宮、華頂宮各殿下御成御手植の松あり。この外 雁金森、新富山等も展望に適する所である。

〔旅 館〕 「松島ホテル」「觀月樓」「白鷗樓」等はいづれも松島海岸に在り設備の完全、輪奐の美を誇る

一流の旅館であり外に観光外人を主に宿泊せしむる「パークホテル」等がある。

宮城縣下

業界大勢

本縣下に於ける業界組合団体として有力なるものは、仙臺菓子商組合（組合員百七十余名）を筆頭とし石巻市製菓同業組合（組合員四十名）古川町菓子商組合（組合員四十余名）大崎五郡菓子商組合聯合會（加盟會員一百余名）氣仙沼菓子商組合（三十余名）等であつて他は組合人員の僅少、事業統制の上に見るべきもの無く、之を業者内部に於て検討するも有力なる製造業者に乏しく縣下菓子需要の六割内至六割五分は殆んど他地方よりの移入に俟つの劣勢に在る。

東北六縣下の中心として將亦東北隨一の大都市仙臺市をする有宮城縣に於てすら、縣外へ移出する製品を製造するもの僅かに、マルカン製菓工場、伊藤菓子種工場、於多富久家等に止まり、東北六縣下は殆んど所謂下り菓子全盛の悲觀すべき現況である。問屋業者にして亦然り一、二の有力問屋を除き他はいづれも自己居住附近或は宮城縣内に止まり遠く縣外に進出、販路を有するもの無く極めて消極的にして萎微、沈滞の状況なり。之を要するに東北地方通有性とも云ふべき進取的氣性に乏しき欠陥の然らしむる處であり、菓子業者としては將來大いに考ふべき問題である。最近新進業者中にこの点に省み製産方法の改善に合理經營の具顯

に努力し徐々乍らも其の効果を示しつつあることは洵に喜ぶべき傾向である。

仙臺業界の現勢及名菓

伊達家三百年の榮華を誇つた仙臺市には政宗公が、我國に於ける饅頭の始祖林淨因の子孫で京都の菓子司鹽瀬某なるものより仙臺の南町に地を賜ひ、玉屋といふ屋號を掲げて召し抱えられたといふ記録があり外に伊達家の御用菓子司として連線十一代に及ぶといはれる大町の明石屋、或は玉城屋、玉澤、開化庵等が現存してゐるが、政宗公以來尙武を傳統的精神として藩風を肅正し來つた伊達家の城下であつたためか兎角風流の道には縁遠かつた故か余りに菓子に關しては誇るべき歴史を有してゐない。且又天恵に乏しく生活程度の極めて低かつた土地柄だけに菓子の發達道程も隨つて遅れた譯で今日に至るも尙其の域を脱せず消費都市として何等見るべき生活品を有せぬ、一般商工業界と歩調を一にしてゐる。業界組合の實際に於ても現仙臺菓子商組合が大正十三年結成せらるゝ迄は團結精神の欠陥に依り時の有力業者に依つて幾多組合の組織を見たがいづれも永續せず斯業の發展に多大の阻害を與へ來つたものである。

幸にして現仙臺菓子商組合が組織されて以來、江刺、門間、平磯三代組合長の努力に依つて斯業の統制が徐々乍らも確立し縣下に其の範を示すに至つたことは洵に結構である。

仙臺の名菓

元來當仙臺市には名産菓子と稱すべきものが相當に數へられてゐるが眞に仙臺の郷土色

の横溢せる名菓に乏しく観光遊覧客に満足せしむるに足る逸品が尠いといふ憾があることは夙に識者の遺憾とする處である。先づ現在の土産品としての銘産菓子のことを述ぶる前に現在古文書等に殘されてある舊藩時代の銘産菓子類を摘録して参考に資することゝとする。

〔鹽瀬饅頭〕 舊藩時代の銘菓の首班として認められるもので今其の由來を述ぶると藩祖政宗公の時代我國に於ける饅頭の始祖林淨因の子孫であつて京都に菓舗を有する鹽瀬某なるものが藩祖公に饅頭を献上したところ頗る御意に叶ひ當市南町に地を興へて玉屋といふ屋號を掲げて召し抱へられた、此れが當市にある鹽瀬饅頭の始であるが此の饅頭は餠に秘傳があつて日を経るも餠の變ることなく其の味極めて甘味云ふべからざるものがあつたと云ふ。

〔鹽 釜〕 名菓鹽釜と云へば今では全国的に菓子銘として使用されており當仙臺地方では寺引菓子として賞味されてゐるが此れは今より數百數十年前以前鹽釜の菓子司古梅園といふ菓子舗から賣り出されたもので土地の名に因み鹽釜と命名して賣り出したものであるが當時は粗雜なる原料で製されてゐたが柔軟なるところが口當りよく頗る珍重されたものである。

〔松島薄脫〕 (松島煎餅) これは松島の名産で一名紅蓮煎餅又は高麗煎餅とも稱されてゐる、頗る絶品で珍重されたもので其の原料の如きも糯粉を主としてそれに豆粉を加へて製したもので其の丸さ七寸ほどで其の色も青黄色で紙の如く薄いものであつた諸勝記の端岩夢庵和尚撰の古記に據れば是れを製し始めた尼の名を紅蓮と云ひしを以て此れを松島紅蓮と稱すと云つて居る。

〔餠〕 これは松島の名産菓子とて竹の皮に包んだ餠で松島海岸の海女が此れを製して松島見物の遊覧客に賣つてゐたといふ。

各 甘 納 豆 種 製 餠

仙臺市名掛町

於 多 富 久 家

店主 大 友 幸 運

電話二一一〇番

和洋菓子
名産菓子

仙臺市驛前

瑞鳳殿 本舗 小新堂本店

仙臺名菓
登録商標

遠藤文三

電話 二八五番

各製菓會社特約店
洋菓子問屋

〔仙臺糯〕（仙臺糯）これは菓子原料に屬するもので藩祖公時代、河内道明寺の製造法を參酌して製造せられ慶長年中より夏井藤兵衛外四人に糯製造所を設けさせ一ヶ所に五人扶持を給し製造方に従事せしめたが之は専ら軍用に供せられたものである。遠路の旅行に携帯し飢を凌ぐに好適のものであり又夏季水を飲む時に是れを入れて用ゆる時は痲病に患されず且つ冷涼を覺ゆるといふ良糧であつたが明治維新に際會し、連綿として繼續して來た製造も藩用杜絶と共に廢業の止むなきに至つた、然るに製造者の一人なる夏井氏の子孫は當市立町に現住されてゐるといふ。其他、餅氷（刈田郡八ツ宮村葛粉）刈田郡森合村、藏本村温麵（刈田郡白石町）等がある。

以上の如く舊藩時代には名菓あるも今その跡は大半杜絶し往昔の如き形は無く微かにその名稱が残されてゐるに過ぎないのである。又現在の仙臺名菓を見るに名實共に名物菓子として誇り得る佳品も數々あるが、同品質に異名を附した品が名物品に多く一例を挙げれば（九重類）九重、萩の露、千代の萩、仙臺萩、萩の素宮城の花、其他（豆类類）政岡豆、仙臺豆、松島豆、青葉豆、五城豆、陸奥の豆、旅立豆、其他（ゆべし類）仙臺ゆべし、谷風ゆべし、伊達ゆべし、さんさしぐれ、谷風餅、松島音頭、仙臺音頭、其他等で各々同様なる種類の菓子に自家登録商標を有する商標を附し販賣して居る。

現在仙臺の名菓としては其の生産額、販路、聲價の点に就て、玉澤の九重を筆頭として

- 政岡家本店の（政岡豆） 開化庵本家の（さんさしぐれ） 風月堂の（皇國の華）
- 門間鴻月堂の（松島音頭） 日進堂本店の（宮城野餅） 南町日進堂の（八木山饅頭）
- 井熊商店の（萩の露） 白松の（白松が最中） 若生本店の（仙臺萩）
- （松島羊羹）

マルカン本店 (千代の萩) 小新堂本店の (瑞 鳳 殿) 明石屋の (鹽瀬饅頭)
梅 月 の (仙臺ゆべし)

等が著名なもので外にも各店各様の名菓がひさがれてゐる。又移出的製品として最近著しき躍進を示すものに、マルカン本店のマコロン、マルカン豆、於多富久家の甘納豆、伊藤菓子種工場のおこし、マコロン、寺澤商店の包装カステラ、特殊製品として森永東北販賣工場のビスケット、千代の花等があり。帝國製菓仙臺工場のビスケット等が大量に生産市販されてゐる。

組合及業界団体要覽

仙臺菓子商組合

仙臺には従來菓子商組合の組織を見ること再三に及んだがいづれも時代と中心人物の變遷に依り衰退解散を繰り返してゐて東北唯一の大都市たる仙臺菓子業界の爲洵に遺憾とされてゐた。然るに大正十三年春より小野寺金四郎氏が菓友會を結成四十余名の會員を中心とし之に在仙の有力業者を糾合して組合結成の準備委員會を催し全市業者の賛成を得て同年八月十八日西公園公會堂に於て三百有余名の出席者を得て始めて仙臺菓

子商組合の發會式を舉行した。

當時の組合役員は

組 合 長	江 刺 運 治 郎
副 組 合 長	門 間 稻 四 郎
顧 問	江 刺 正 治 郎
常 任 幹 事	小 野 寺 金 四 郎
同	佐 藤 逸 平
會 計	深 川 佐 藏
同	廣 瀬 久 之 丞
東 部 々 長	遠 藤 右 工 門
西 部 々 長	千 海 一 治
南 部 々 長	大 宮 留 五 郎
北 部 々 長	熊 谷 熊 吉
中 部 々 長	平 磯 正 三

の諸氏で組合員三百五十余名を擁し始めて仙臺市に強力なる菓子商組合の出現を見るに至つた爾來星霜十有二年其の間幾多の試練と變遷をくり返し爰に同組合の牢固抜く可らざるの基礎を確立し、斯業の進展に貢献する處多大で、本年には東北業界にとり十年以來の宿望とする全國菓子大博覽會開催の一大勇斷を敢行し同組合の存立意義を深からしめたことは特筆に價する。因に同組合の現役員氏名は

組 合 長 平 磯 正 三 副 組 合 長 齋 藤 民 助 同 小 林 重 藏

評議員兼 庶務係	小野寺 藤 助	同兼會計係	渡邊 勘 七	評議員	茂泉喜四郎
同	及川 儀 藏	同	遠藤 文 三	同	井納高三郎
同	佐藤 長 藏	同	新木源太郎	同	熊谷 熊 吉
同	千海 一 治	同	兵藤 嘉 吉	同	大塚 大 八
相談役	門間稻四郎	相談役	江刺運治郎	相談役	深川 佐 藏
同	廣瀬久之丞				
顧問	森永東北販賣會社 近江嘉尾留	三丸 商店	帝國製菓工場	清野間太郎	江刺正壽郎

本組合は 統制上、東部、西部、南部、北部、中央部の五部に分ち各部に部長、副部长、幹事長、幹事を置き部内の統制を圖つてゐる。

東部々長 遠藤文三 副部长 平 春吉 西部々長 井納高三郎 副部长 米澤長治郎 南部々長 佐藤長藏 副部长 及川今治 北部々長 兵藤嘉吉 副部长 幕田爲五郎 中央部々長 渡邊勘七 副部长 大塚大八 以上諸氏である。

仙臺洋菓製パン同業會

在仙の洋菓子、製パンで同業者の團結たる同會は昭和七年八月、千海、井納、大槻等の諸氏發起となり斯業の向上發展を企圖して結成されたもので爾來三ヶ年に亘り同業に關する諸施設を行ひ業績着々と昂進してゐる。

る。全員四十余名、幹部役員は、

會 長	仙臺日出軒	千海 一 治	副會長	星月堂	井納高三郎
幹事長	同 榮泉堂	遠藤 榮 吉	會 計	廣瀬堂	針 生 次 郎

宮城縣菓子協會

同會は昭和十年一月十六日仙臺市及宮城縣下の菓子業者關係業者を以て組織され、斯業の實際的改善と向上を目的として、製菓、製パン或は原料に關する講演會、講習會、座談會等の舉催、技術者の旋幹紹介等を行ひ市郡及郡部業者の連携を保つて結成以來日未だ淺きに拘らず、顯著なる業績の躍進を示し其の將來を期待さるゝ事極めて大である。

會長は現仙臺菓子商副組合長にして東北六縣下に和生菓子の權威として令名高き仙臺風月堂齋藤民助氏であり、圓滿重厚の人格者たる同會長の下に一絲亂れざる統制と鞏固なる團結を誇つてゐるが同會幹部役員其他左の通り。

會 長	仙臺風月堂	齋 藤 民 助	副會長	仙臺星月堂	井納高三郎
副會長	石卷松泉堂	泉 正 吉	理事長	仙臺白 松	早坂 恒 二
主 事	東北菓子食料新聞大	山 勝 義	會 計	仙 臺	青 木 高 吉
	同 塚本 勳				

外に常務理事十二名、理事二十五名、會員は市部、縣下に涉り一百余名を擁してゐる尙事業部、技術部、人

事部を設け各所屬會務の分掌進捗を合理化せしめてゐる。
事務所は仙臺市本櫓町三六早坂理事長宅(電話三二九二番)に置き別に國分町商工會館を集會場としてゐる。

仙臺菓子問屋協會

仙臺市内の菓子問屋業者の統制と親睦を目的として昭和八年七月結成されたものであるが、問屋業者の悩みたる亂賣行爲の抑制、不良業者の警戒等に努力されてゐる。
會長に森永東北販賣會社長山田正一氏を推し、副會長に江刺屋本店江刺正壽郎氏、會計 三丸商店 金澤忠右工門氏幹事として小新堂本店遠藤文三氏、同菅原老舗 菅原吉次郎氏で會員にマルカン本店、井熊商店帝國製菓仙臺工場、若生本店以上である。總會は年一回、事務所は會長宅に設けてある。

橘 會

故小島龜太郎翁の衣鉢を受ける同會は和生技術者の團體として二十年來の傳統を誇るものであるが、小島氏の歿後、萬年堂上田倫氏會長となり、副會長高平榮藏氏 幹事長三浦梅吉氏等が中堅として會の統制を掌つてゐる會員三十名別に特記すべき事業も無いが技術者の團體としては最も古い歴史を有し會員相互の親睦に細心の努力を拂つてゐる。

仙臺甘納豆同業組合

本春在仙甘納豆製造業者四名を以て組織されたもので、斯業の共同福祉の増進と販賣統制の確立を圖る爲結成されたもの、消費都市仙臺業界より一步進めて生産都市としての躍進を叫はれてゐる仙臺産業界に菓子業者としてはこの甘納豆組合のみが僅かに氣を吐くもので移入菓子全盛の東北業界に其の移入を防壓し反つて他地方に大量移出を見るに至つたことは同組合員諸氏の努力に負ふ事が甚大である同組合員氏名は

仙臺市東一	玉屋本店	鈴木久治郎	同名掛町	於多富久家	大友幸運
同 國分町	石河豆屋	石河斌	同名掛町	玉川屋	小財寅吉

第十回全國菓子大博覽會解説

仙臺菓子商組合は昭和八年五月新潟に於ける第十回全國菓子飴業者大會の要望を容れ同年八月仙臺市に於て臨時組合總會を開き萬場一致本會を昭和十年五月仙臺市に開催することを決議し爾來組合を擧げて準備に全力を傾注し、全國業界に飛激して其の應援を懇請しつ、來つた然るに昭和九年秋に於ける東北冷害大凶作の災厄に遭遇し本會擧催も其の成否を論議さるゝの悲境に陥つたが幸にして、全國業界の熱烈なる支援と主催組合の悲壯なる結束とに依てこの難關を突破し一意開催準備に全役員の邁進漸く奏効し愈々本年五月十一日より二十五日に至る時あたかも藩祖政宗公三百年祭擧催と時を同ふして盛大に開催さるゝに至つた。然も昭和八年五月新潟市に擧催せる第十回全國菓子飴業者大會の決議に依り「全國菓子大博覽會」との改稱

第一回目の開催として全国業界に多大の期待を以て迎へられつゝあることは、其の意義極めて深奥なるころである。

會 場

本會の開催さるゝ會場は仙臺市の中央勾當臺、宮城縣商工獎勵館の全館を之に宛て、階上階下の八棟建坪六百八十八坪余、之に参百有余小間陳列ケースに全出品を收容、陳列して全国名菓の偉容精彩を目のあたり展示して業者研鑽の便に資し一は直接需要大衆の菓子に對する認識を向上し菓子需要の喚起に資せんとするものである。

審 査 室

本會の審査には會場に隣接せる宮城縣立圖書館階上二百余坪の大ホールを使用し全國代表の審査員諸氏の厳正公平なる審査施行上に萬遺漏なからしむることゝし、大審査室、食堂、休憩室、整理室等に區分してある

褒賞授與式場

本會々期中最大の開催たる授與式には近代的建築に新装を誇る宮城縣會議事堂（宮城縣廳々舎の一部）を宛て壯重嚴肅の學式に一段の意義と印象とを深からしめんとするものである。

代表製品

マコロンケーキ

マルカン豆

仙臺諸越

品質優秀

名菓 千代の萩 製菓製種 製造元

マルカン製菓工場

仙臺市原ノ町金屋敷
電話 三四二二三番

最新式機械應用
キサミ、シフトリ ムキ落花生製造元

原料製 菓問屋 **マルカン本店**

店主 渡 邊 勘 七

仙臺市驛前多門通
電話 八七〇番

各製菓會社特約店

明治生命保險會社代理店

仙臺名菓

商標 登錄

八木山饅頭

本舖

仙臺通寶

諸官衙學校御用

仙臺市南町

和洋菓子
パン

南町日進堂

店主 平磯 正三

電話 二五七九番
二七七五番

登錄商標

仙臺名菓

森の精

皇國の華

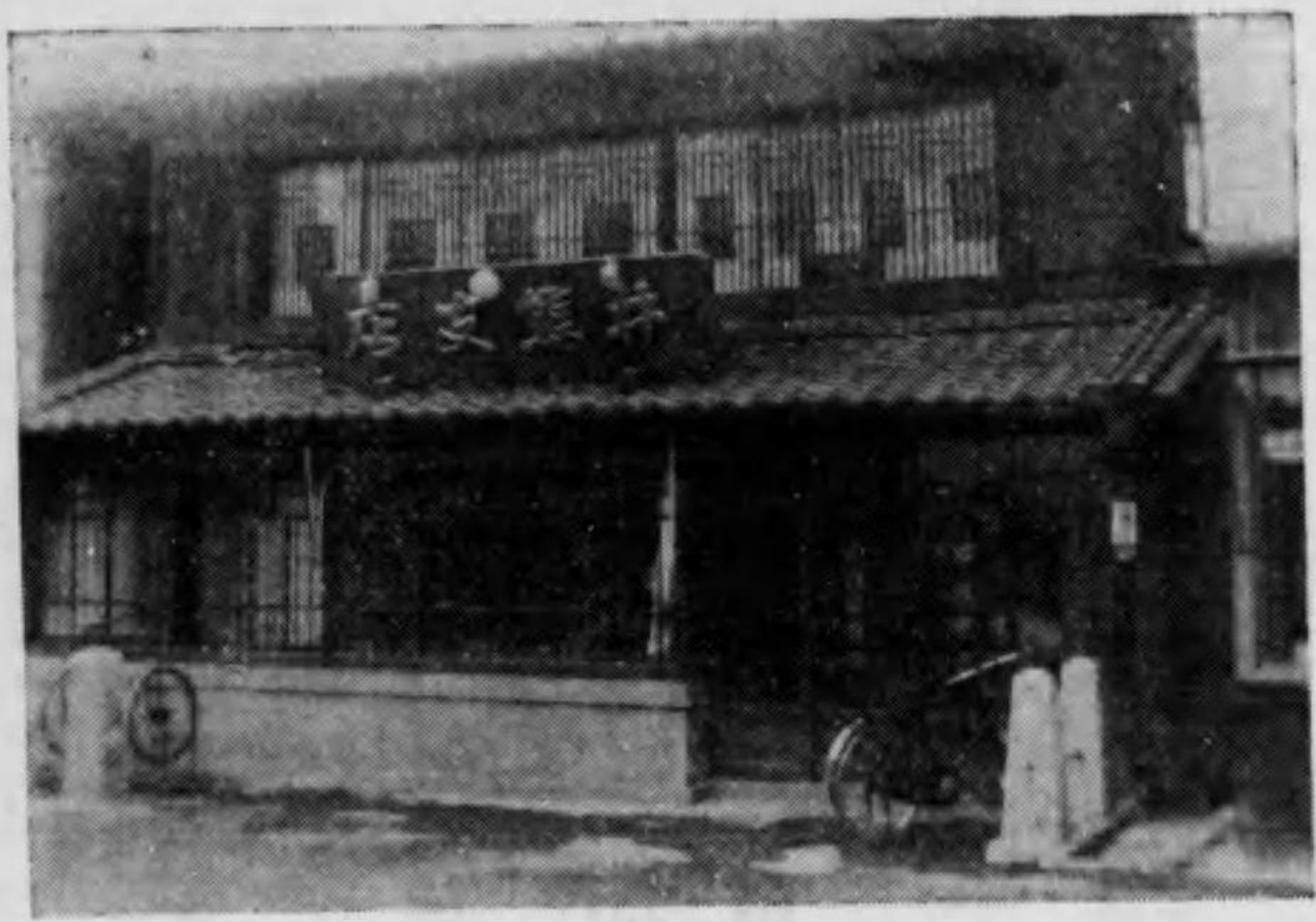
和洋菓子

仙臺市國分町一五二

風月堂

店主 齋藤 民助

電話 三八九番
一〇八九番



仙臺名菓

登錄商標 萩の露

仙臺市元寺小路

本舖 井熊商店

店主 小林重藏

電話一九八八番

菓子博覽會幹部役員氏名

名譽總裁	正五位	伯爵	伊達興宗
總裁	宮城縣知事	半井清	
副總裁	宮城縣經濟部長	堀口功	
審查總長	從三位勳二等 工學博士	新保德壽	
審查長	宮城縣商工獎勵 館長	梨谷了祐	
會長	仙臺市長	澁谷德三郎	
副會長	仙臺菓子商組合 相談役	江刺運治郎	

同月十五日 (水) 審査開始

同月十六日 (木) 審査

同月十七日 (金) 同

同月十八日 (土) 同

同月十九日 (日) 審査部長會議

同月二十日 (月) 全國菓子業組合聯合會理事會
評議員會、代議員會

同月二十一日 (火)

第十一回全國菓子飴業者大會
(午前十時) 褒賞授與式
(午後一時) 大懇親會 (午後五時)

同月二十二日 (水) 菓子祭

同月二十三日 (木) 同

同月二十四日 (金) 同

同月二十五日 (土) 閉會式

菓子業者要覽 (仙臺市之部)

販賣品目

森永の菓子
森永ミルク
森永のお茶

製造品目

ビスケット
千代の花
松島豆

本社 仙臺市元寺小路 (電話三五六番)

工場 同 原ノ町 (電話一六四八番)

青森工場 青森市浦町 (電話一二四三番)

森永東北販賣株式會社

取締役社長 山田正一

支店及出張所
秋田支店 青森支店
山形出張所 郡山出張所
若松販賣所 弘前販賣所
米澤配給所

營業種目	住所	電話	氏名
パン、和洋菓子、喫茶 (九重總本店) 各種名産菓子	仙臺市新傳馬町 名掛町驛前	日進堂本店 玉澤	江刺 運治郎
和洋菓子、パン	全 東一番丁	日進堂 祥華堂	近江 嘉尾留
(九重本舖) 和洋菓子、パン	全 名掛町	玉澤總本店 玉澤パン店	飯沼 富郎
和洋菓子、パン	大町五丁目	開化庵本家	清野 問太郎
和洋菓子	東一大通り	廣瀬菓子店	竹中 長
和洋菓子	大町三丁目	和洋堂	永野 榮三郎
和洋菓子	多門通り	布袋屋	阿部 久五郎
和洋菓子	玉澤横丁	石河豆屋	大塚 大八
和洋菓子	玉澤横丁	利久	石河 威三郎
和洋菓子	東一番丁	浩月	佐々木 威三郎
和洋菓子	多門通		茂泉 喜志郎
和洋菓子	東一番丁	玉屋本店	常食 改善會
和洋菓子	東一番丁	玉屋支店	鈴木 久治郎
和洋菓子	東一番丁		二宮 幸松
和洋菓子	東一番丁		明治製菓仙臺賣店

第十回全國菓子大博覽會御用

内外裝飾請負

仙臺市立町

美術造花製作

仙臺ホーキタ商會

店頭裝飾

伯耆田房次郎

宮城縣廳指定

電話八〇番(呼)

各種ビスケット製造



帝國製菓

株式會社

仙臺工場

仙臺市小田原遣水町

電話二八八一番

仙臺銘菓

登録
商標

白松が最中

仙臺市本櫓町

謹製
本舗
白

松

電話三三九二番

仙臺市二日町

各種
パン製造

日出軒

主 千海 一治

電話三九五五番

支店 東二番町圖書館前

仙臺市本櫓町

洋生菓子
製パン

井納洋菓店

主 井納高三郎

電話三八五番

カステーラ
各種パン
歐風菓子

仙臺市原ノ町五一

寺澤商店

寺澤春吉

電話四〇三九番

仙臺名菓

登録商標 仙臺萩本舗

仙臺市本材木町

菓子問屋 若生本店

電話四五一番

營業品目

九重種 九重種
さくら種 さくら種
丸干 丸干
磯部種 磯部種
葡萄種 葡萄種
並小荒 並小荒
マコロン マコロン
御家寶 御家寶
おこし類 おこし類

製造元

仙臺市東十番町五八

伊藤製種所

主 伊藤太三郎

電話二三九九番



名物

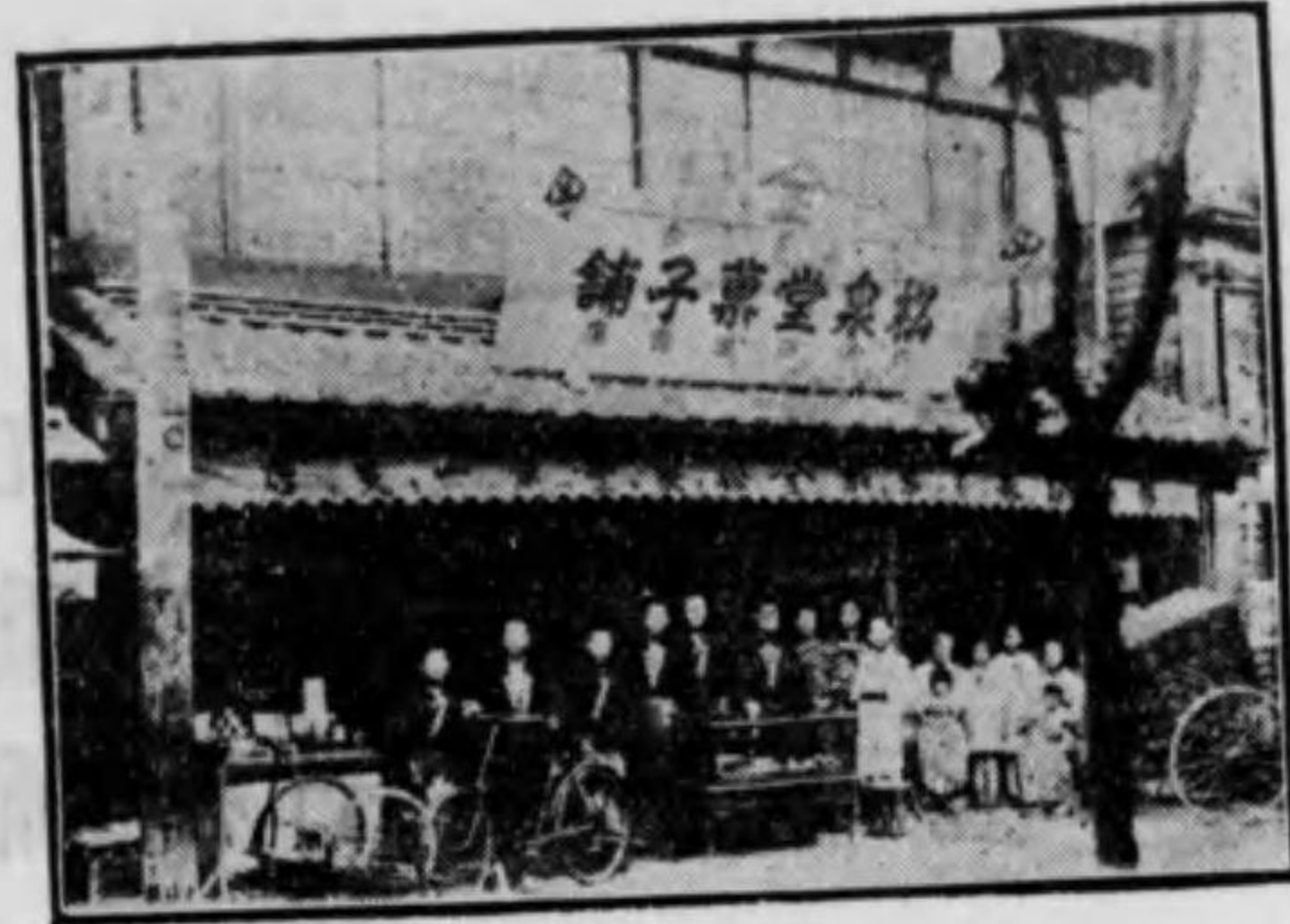
石卷最中
黄金餅
和洋菓子
パン

石卷市立町

萬樂堂菓子舗

店主 高橋 萬七

電話 四二一番



石卷名物

石卷最中
鬼羊羹
磯衣

石卷市仲町

本舗 松泉堂本店

店主 泉

正之助

電話 一〇七番

石巻名物

録登 水の都

商標 かがみ煎餅

どら やき

石巻市立町

本舗 清 香 軒

主 菊地 善四郎

電話三一五番

石巻名物

録登 かき飴本舗

商標

石巻市九軒町

福田製菓舗

主 福田 淳七

電話二四九番

石巻市

仙臺に次ぐ繁華なる水の都石巻は過般市制を施かれた程の躍進振りて業界の發展も驚異的躍進を示されてゐる。石巻製菓同業組合は大正八年七月現組合長泉正之助氏等の主唱に依り創立せられたるものにして當時の好況時、製菓業の主要原料特に砂糖類の暴騰に依り業者の困窮其の極に達せる悲境に奮起せるが組合創立の直接動機であつたといふ。

爾來十有七ヶ年當初の組合精神に立脚し益々その業績を擧げ、其の間昭和二年石巻菓友會と合同、合離、或は再び合同等多端なる過程を辿り來つたが組合の内容は愈々堅實を加へ市制實施を共に更に一段の飛躍を示すものと期待されつゝあり。現組合長泉氏は創立以來十七ヶ年衆望を荷ふて重任されつゝあるが斯る事例は異例とも云ふべく氏の經營する松泉堂の縣下業界に於ける地位と相比例し業界稀に見る有力業者としての一存在である。

〔名物〕 同市名物最中は名産界を斷然リードしつゝある觀がある。

之は同じ海港地たる氣仙沼業界の萎微不振に對照し洵に興味を咬る處である要は石巻業者の永年に涉る忍苦努力の結晶であると云ひ得らるゝ名物最中の發祥は笠屋老舗と傳へられてゐるが、松泉堂泉氏の開業以來數十年に至る名物最中たらしむる迄の品質改善と名物價値の向上、普及化に負ふ處洵に甚大と云ふべく全町業者殆んど全部が今日名物として産出する最中の數量は年産額十余萬圓と云はれてゐる。松泉堂本店の名物石巻最中、磯衣、福田淳七氏のかき飴、清香軒のかゞみ煎餅、水の都、万樂堂の黄金餅等は最も傑出せる代表的名菓として知られてゐる。

宮城郡

塩釜町

築港の完成に依り更に砂糖移入港として、本縣重要港灣の一たる同町業界には嘗て鹽釜菓子商組合の組織ありたるも現在に於ては殆んど有名無實の状態にして特記すべきものなし。同組合長は齋藤榮太郎氏、副組合長岩手勇治郎氏なり、業態舊來の雜菓子を主として外榮太樓、梅花堂、平塚物産店等に於て名産菓子、生菓子、パン類等の販賣を爲す程度、大体に於て業態不振の状態なり。

米	鹽釜町尾島町	あられや	四五六	岩手勇治郎
名菓ほがま、梨羊羹	本舖	榮太樓	一三七	齋藤榮太郎
菓子原料	同	熊久商店	二四一	熊谷勇藏
生、雜菓子	同	松月堂	四七〇	丹野喜代治
雜	築港	名登利屋	七四〇	佐藤平藏
名菓もしほ糖、喫茶食堂	同	平塚物産店	二一一	平塚長藏
生、雜、名産	同	梅花堂	七六九	佐見ひさよ
同	同	吉田屋	七五六	吉田長二郎

牡鹿郡

渡ノ波町

同町菓子商組合は創立以來二十余年の歴史を有し別に同地名物牡蠣羊羹製造販賣組合あり、名物羊羹の品質向上と販路擴張に貢献しつゝあり、同商組合長は新田源一郎氏、尙現菓子商組合長は阿部徳之助氏

(名物) 牡蠣羊羹代表名菓とし同組合員の製造する以外特筆すべきものなし。	渡波町本町	誠進堂		内海定治
生、雜	同	阿部徳		阿部徳之助
菓子問屋、生、パン	中町	住吉屋	二〇	猪股正男
雜	肴町	對松堂	二九	新田源一郎
同	南町	白石家		加藤角次

女川町

純然たる同業組合無し、目下新進業者方面に於て組合結成の意圖あれば遠からず、組合組織實現を見るに至ると期待される。

(名物) 新進業者の一人たる梅月堂阿部氏の名菓磯みどりが女川唯一の名物として知らるゝ以外名物らしきもの全然無し。	女川町	梅月堂	六二	阿部松二郎
名礎みどり	同	大福堂		木村茂
同	同	松林堂		林養作
同	同	松月堂		淺野清志
同	同			高橋直吉
同	同			鈴木市五郎

同

桃生郡

同

佐藤友治

飯野川町

飯野川菓子同業組合は創立以來既に三十有余年の歴史を有し縣下稀に見る永續せる組合として有名である。現組合長は堀込庄助氏なり。

(名物) 同町の業者は殆んど古來より附近農村對手の雜菓子製造のみにして特筆に價する名産菓子なきも最近、同町附近を貫流する北上川支流に架せられた摩登飯野川橋の新名所に因み、玉泉堂本店堀込氏の橋見せんべい。及同支店佐藤研氏發賣の新名物橋見まんぢうの出現に依り同町自慢の名物として喧傳さるゝに至つた。

雜 卸 小 賣	飯野川町	玉泉堂本店	三三	堀邊 庄助
名物 橋見まんぢう 本舖	同	玉泉堂支店	六二	佐藤 研
雜 小 賣	同	藤原支店	二二	中島 新吾
同	同	大正堂		遠藤 重助
同	同	新菓子屋		高橋 新六
同	同	松月堂		阿部 千代雄

本吉郡

柳津町

同町には組合の組織無く、名物として見るべきもの亦全然無し。

雜 卸 小 賣	柳洋町	良耕堂		山田 耕三
同	同	淺清商店		淺野 清五郎
堂	堂	日進堂		西條 常雄

志津川町

同町には従前組合あり、相當見るべき業績も有したるものなるも數年前、組合長砂金氏死亡後其の儘となり、現在に於ては殆んど組合の機能を失ひたる状態なり。

生、掛 物	志津川町十日町	砂金堂	六八	砂金はるみ
生、パン 煎餅	同 五日町	兼田屋	六四	策田 庄之助
雜 卸	同 北町	開進堂		阿部 象治
同	同			佐々木 養作
生 雜	同 十日町			山内 清徳
同	同 梅地			阿部 軍五郎

氣仙沼町

同町菓子同業組合は創立以來十余年今日に至り縣下に於ても有數の同業組合として知らる。現組合長は小山忠吉氏、副組合長昆野太彌治氏、會計石田嘉市氏。

(名物) 縣下有數の漁港として知らるゝ同町は土産品として、海産物の需要多く菓子としては土産價値に乏しく其の發展も充分ならず僅かに海苔羊羹、或は朝日堂のいかせんべい等が名物菓子として聲價を博しつゝある程度に過ぎず業者の奮起を期待さるゝ處である。

雜	卸	小	賣	氣仙沼町元町	小山菓子店	二五〇	小山	忠吉
生	小	賣	同	八日町	青柳	四一五	横田	勝夫
同	同	同	同	肴町	いもや	四三	高橋	勝雄
同	同	同	同	海岸通	朝日堂	三二	大房	幸吉
同	同	同	同	八日町	大徳	一四四	大森	幸吉
菓子問屋、同	原料	同	肴町	龜甲屋	だるまや	二六二	昆野	太彌治
同	同	同	同	西風釜	松月堂	二四五	加藤	勝夫
同	同	同	同	肴町	右田屋	四〇七	右田	嘉市
同	同	同	同	南町	木村屋		小竹	潔
同	同	同	同	三日町	岩城屋		小山	大
同	同	同	同	驛前通			久野	臺吉

登米郡

佐沼町 同町には登米郡西部菓子製造組合あり、創立以來既に十三年余を閱し組合員は二町七ヶ

村の同業者を包含す。現組合長は佐沼町振業堂佐々木養治氏、副組合長は吉田柳一郎氏なり。

(名物) 振業堂老舗の佐沼名物、鹿城の月、及鳳月堂の名物鹿ヶ餅等は共に同町の代表名菓として知らる

佐沼名物	鹿城の月本舗	佐沼町一市	振業堂	六三	佐々木養治
生	菓子	小賣	同	横店	吉田柳一郎
雜	卸	同	同	天皇横丁	小梁川榮作
生	パン	卸	同	一市	阿部善賢
雜	卸	同	同	驛前通	菅野善藏
同	同	同	同	天皇横丁	小梁川敬治
同	同	同	同	給主町	星忠治郎
煎	餅	同	同	小學校道り	久光彌吉
生	小	賣	同	一市	畠中三郎
生	バ	ン	同	中學校通	岩澤千代松

石森町 同所は登米郡西部組合に屬し居れり。製菓業至つて不振の地にして従つて特殊名産なる

もの全然無し。

雜	卸	小	石森仲町	伊藤義實
同	同	同	同	八卷三男雄

米谷町 本町を中心とし、一町三ヶ村の同業者の包含する北部菓子製造同業組合は昭和五年以來

存続し、現組合長は米谷町佐々木圓造氏、副組合長同町井坂三治郎氏なり。

(名物) 別に見るべき名菓なし、只米谷驛前井坂氏の長谷まんぢうが名物として世に知らるゝ處である。

生、パン卸小賣	米谷町仲町	精華堂	佐々木四藏
雜卸	同上町	改進堂	高橋久義
同	同仲町	光榮堂	及川新治郎
同	同横町		阿部正一
同	同		菅原ちどり
同	同		及川しん
同	同		千葉はつみ
同	同		伊藤とよ
同	同		伊藤壽治
同	同仲間町		龜卦川三郎
同	同		井坂三治郎
同	同驛前	井坂屋	
長谷まんぢう			

登米町

同町には現在組合の組織なし、但新進同業者の増加につれ早晚同業組合結成に至るべく豫想されてゐる。同地の業者は比較的堅實なる營業振りを示しつゝあり。

(名物) 登米名物として、風月堂淺野氏の子持栗、たゞみ餅等は其の品質極めて佳良、發賣後未だ日淺き

にも不拘相當に販路と名聲を保持しつゝあり。
生、パン卸小 登米町仲町 青葉屋 五七 佐々木誠助

雜卸小	同 搦町	石巻屋	一〇二	畠山政吉
名物 子持栗、たゞみ餅本舖	同 九日町	風月堂	六九	淺野惇九郎
生、パン	同 三日町	清月堂	一〇九	淺野二三四
同	同	武藏屋		武藏勝治

栗原郡

若柳町

同町には大正七年頃より若柳菓子同業組合の組織あり、外に同組合員を以つて組織する購買組合あり、諸原料等の共同購入分配等を爲しつゝあり、現同業組合長は松風堂小野寺佐一郎氏なり。

(名産) 當地方は古來より精良なる太白飴の生産地として知られ就中、飴屋老舖伊藤氏は連綿數代に亘る

名物太白飴老舖として知名なり。外別に特殊名産菓子無し。

菓 子 問 屋	若柳町中町	松風堂	一四〇	小野寺佐一郎
飴 子 菓 問 屋	同 中町	飴屋		伊藤久四郎
生、雜菓 子	同 新町	二葉屋	二三一	齊上タキヨ
生、雜菓 子	同 同	丸久	一三二	久我東吉
同	同 同	小四屋		小四八郎
同	同 同	仙臺屋		佐藤政一郎
同	同 中町	ふぢや	六九	加藤彦助
同	同 上町	佐々木屋	二二二	佐々木庄三益

雜	生、雜、卸	小	賣	若柳町下町	長進堂	五四	小野寺 匡治
煎	餅	同	上町	同	三浦清兵衛	野々村 宗二郎	
雜、卸	小	賣	同中町	同	辻山兵作	辻山兵作	
同	同	同	同	同	蓬田屋	蓬田甚作	
同	同	同	同	同	千葉萬吉	千葉萬吉	

岩ヶ崎町

善左衛門氏なり。

同町の製菓組合は約二十余年以前より存続し、現組合長は菅原宗助氏、副組合長に岡本

(名物) 岩ヶ崎名物として知らるゝ岡本氏製造に係る鶴ヶ飴は創業以來百余年の歴史を有し、代表的名菓

として栗原郡隨一の販路と名聲とを持続しつゝあり、以外には名物と稱すべきものなし。

生、雜	卸	小	賣	岩ヶ崎町六日町	千葉菓子店	千葉 貞
信子問屋、鶴ヶ飴	本舖	同	同	岡本製菓店	岡本 善右衛門	菅原 宗助
雜、菓	子	卸	同	茂庭町	菅原 屋	佐藤 正松
同	同	同	同	六日町		

築館町

同町には組合の組織なし。

(名産) 築館名物として仙臺屋の切山椒、小豆煎餅等最も知名のものとする。

菓子問屋、生、雜	卸	小	賣	築館町本町	仙臺屋	栗原 靜壽
----------	---	---	---	-------	-----	-------

生、雜	小	賣	同	下町	熊谷屋	熊谷 留吉
同	菓	子	原	料	同	長谷川 宗右工門
煎	餅	同	同	同	喜久野屋	鈴木 安
生、雜、卸	小	賣	同	伊豆野		白鳥 支造

一迫町

組合の組織なし。

(名物) 同町龍雲寺境内に最近発見せられたる仙臺秋の烈婦政岡の墓に因む、名物として鎌田屋の政岡ゆべし、及森商店の眞坂羊羹等。

生、雜、卸	小	賣	一迫町眞坂	鎌田屋	鎌田 清雄
同	同	同	同	同	澁谷 徳治
雜	卸	同	同	及森商店	及森儀三郎
同	同	同	同	同	木村 有平
同	同	同	同	同	長谷川 角治

高清水町

組合全然無し、菓子業としては極めて不振の土地。

(名物) 別にとり立て、謂ふ程の名物菓子なし、只鹽せんべいを比較的良質の製品として一般に認識せられつゝある程度なり。

生、雜	菓	子	高清水町新町	北村屋	北村 東次郎
同	同	同	仲町	盛進堂	三塚 英助

加美郡

中新田町

中新田町同町には組合の組織あれど現在には殆んど其の機能なく有名無實の状態、組合事務は砂金徳治氏が取扱ひ居れり。

(名物) 附近名産の牛蒡を原料とせる榮進堂柴谷氏の牛蒡砂糖漬が中新田代表名菓として知られ、各品評

會共進會等に優位授賞を獲得しつゝあるが以外には特筆すべき名物無し。

生、雜	卸	小	賣	中新田町十日町	砂金屋	砂金徳治
名物	牛蒡漬	本舖		南町	榮進堂	柴谷重吉
生、雜	小	賣		十日市	盛林堂	淺野爲吉
雜		信		並柳		佐藤政吉

志田郡

古川町

縣下屈指の製菓業繁榮の地たる古川町製菓同業組合は大正三年創立以來今日に至る二十余年繼續愈々益々進展の一途を辿りつゝあり、殊に昭和五年十一月同組合主唱の下に大崎五郡の聯合會を組織し斯業刷新と向上に精進しつゝあり。組合長は創立以來より現組合長菅原禧四郎氏重任され、副組合長は北進堂高橋忠三郎氏共に組合今日の大を成すに多大の貢献を寄せられてゐる。同組合には別に研究部として古月堂近江嘉吉氏以下新進業者の結合せる鞏固なる技術研究団体なり。研究會、講演會、獎勵會等を開催し

古川名産

わさび餅
陸奥の雪
おこのみ羊羹
諏訪の花

本舖

陸前古川町

北進堂菓子舖

店主 高橋忠三郎

電話二〇番



名菓 古城の月 本舗 藤の雫

陸前古川町七日町

古月堂菓子舗

店主 近江嘉吉

電話 一二七番

て斯業向上に寄與する處多い。

(名物) 北進堂の名菓わさび羊羹、諏訪の花を始めとして古月堂の古城の月、藤の雫、松華堂の松の香、カステーラ、中島家の和泉せんべい、津の國屋の城見の月、片葉のよし、菅原屋の志田おこし等の名菓はいづれも古川町代表名菓として夙に名聲普ねく古川業界の精華と謳はれてゐる。

志田おこし本舗	菅原屋	菅原禎四郎
わさび羊羹、諏訪の花本舗	北進堂	高橋忠三郎
古城の月、藤の雫本舗	古月堂	近江喜七
城見の月本舗	津の國屋	角田庄三郎
和泉せんべい本舗	中島家	中島貞右工門
松の香、カステーラ本舗	松華堂	伊澤義七
雜	吉岡屋	高橋熊藏
同	北町	扇子國治
同	千手寺	相澤長吉
同	南町	吉田幸男
同	同	茂田幸榮
同	三日町	砂金養治
同	三日町	佐々木慶之助
同	同	佐々木喜惣治
雜	同	紺野定右衛門

(名物) 同町水戸屋本店の名菓「婆々櫻」は約二十年の歴史を有する吉岡唯一の名菓として知られ、同じく

同店の名菓「七景」と共に代表的名物として世に喧傳さる。

名菓 婆々櫻、七景	吉岡町中町	水産本店	四一	加藤捨吉
生菓 雜卸小賣	同	白酒屋	二五	吉田直吉
同	同	水産支店	一三	泉眞壽吉
同	下町	澤田屋		渡邊兵吉
同	坂仲	大正屋		若生清

名取郡

岩沼町

同町には同業者十余名を以て組織する岩沼菓子商組合なり、現組合長は門眞善七氏なり
同町には竹駒神社に因む名物として古來より町内各店商に於て稻荷羊羹、あんもち、煎餅等を販賣し、例年
二月の初午祭には業態販活況を極むるを例とす。

稻荷羊羹、製菓問屋 本舖	岩沼町北町	門眞屋	門眞善七
同 和洋菓子	同町	佐々木豊作	
同 雜卸小	同 同心町	渡邊仁平	
同	同	吉田長兵衛	
同	同	鈴木長次郎	
同	同	阿部茂吉	
同 稻荷卷	同 裏通り		

稻荷あんもち	同町	かめや
同	中町	石田善之助
雜卸小	同 南町	橋本美之助
同	同	堺敬吉
同	同	布田一郎
同	同	木下太郎
同	同	木下商店

増田町

同町には鶴見屋商店の名菓、衣笠の雪あり、名松衣笠に因む名菓にして知名 畏くも明
沼大帝東北御巡幸の砌、献上御嘉納の光榮に浴してゐる。同地は業界殆んど振はず他に銘記すべきもの無し

衣笠の雪、砂糖粉、水	給	増田町	鶴見屋	二〇	阿部源吉
雜卸	同	洞 口 家			洞 口 正 雄

柴田郡

大河原町

従前大河町を中心として仙南五郡を結合せる同業組合存在せしも漸次解消状態となり現
在組合の結合無し。

(名物) 山紫水明の地大河原町には東北否全國業界に於ても獨特の名菓として知名なる名物晒よし飴の本
場であり同品の元祖たる村田家、市場家共晒よし飴の製造を以つて獨歩の地位を確保しつゝあり、名菓
晒よし飴の名聲は東北業界の他業界に誇るべきものゝ一であるといふも過言ではない。

元祖 晒よし飴 本舗	大河原町	尾形橋傍市場本店	二一	市場 徳三郎
同 生、	雜 雜	村田家本店	一二	森 朋吉
菜 子 問	雜 屋	喜多屋	一四二	大森 繁三郎
雜 生	卸 卸	大森屋	一三〇	原田 菊三郎
同 同	卸 本町	原田家		阿部 幸一
雜 雜	西町	阿部商店		日下 英雄
同 同	西町	旭屋		平野 次郎
バ 同	新田町	平野屋		岩間 清吉
	尾形町	岩間パン店		

村田町

組合なし、業界極めて不振にして何等特記、すべき事項なし

和 洋 菜 子	村田町	村田家支店		森 勇太郎
雜 菜 問	同	佐々木商店		森 集藏
製 菜 問	同			佐々木 喜代松
雜 卸	同			木村 留吉

槻木町

業界至つて振はず僅かに江戸屋、湖月喜の業者あるのみに過ぎず。

(名物) 江戸屋本店の名菓江戸の越が同町名物として認識さるゝ程度なり。

江戸の越、和洋菓子 本舗	槻木町	江戸屋本店	三六	伊藤 順藏
--------------	-----	-------	----	-------

刈田郡

白石町

仙南隨一の名邑たる同町に於ける菓子業界は全く不振にして業態舊套を脱せず見るべき業者皆無なり。亦組合等も同町としては仙南五郡聯合會に加入せるも同會の中絶と共に解消、名所舊蹟に富み附近温泉への交通重要点に在る同町業者の奮起を俟つこと多しとす。

(名物) 唯一の名物とする白石名譽饅頭は驛前白石ホテル阿子島氏の發賣に係り東北本線小牛田驛の名物子持饅頭と好對照を爲すもの。

業 子 種	白石町南小路	櫻場商店	四三	合資會社 櫻場商店
生、 雜 菜	白石	新井屋	一四三	佐藤 庄十郎
雅 卸	長町		二三〇	鈴木 伊三郎
生、	壽町	村田家支店	四一	森 榮一
各 種	長町	柳屋パン店	三一四	稻村 專造
菜 子 原 章	短ヶ崎	最上屋	一三二	菅原 商店
同 同	亙理町	石津屋	五五	菊地 寅吉
名物 白石饅頭本舗	東小路	白石ホテテ	一二五	阿子島 梅乃
雜 卸	本町	靜風軒	二一七	菊地 喜一
同	驛前	八幡屋		八幡 三郎

雜 卸 槻木町 二六 湖 月 堂

日清製粉株式會社
オリエンタルイースト

代理店

仙臺市新傳馬町

佐々忠商店

電話 六四三番

仙臺市東四番町

東北糖業商會

電話 園五一一番
三六五四番

市外専用 七番

登錄商標

仙臺名菓

松島音頭
八房の梅

仙臺市二日町

本舖 門間鴻月堂

主 門間稻四郎

電話 一一三一番

名物

椿餅
が ん づ き
田舎饅頭

仙臺市花京院通

菓子舖

兔

月

電話 三一九三番

名 登 録
菓 商 標
龜 甲 羊 羹
の し
柿 本 舗
柿 羊 羹

宮 城 縣 角 田 町

鎌 田 家 老 舗

店 主 鎌 田 新 吉

電 話 二 十 五 番

宮 城 縣 下 登 録 名 菓 一 覽

名 稱	登 録 番 號	年 月 日	住 所	氏 名
青 葉 城	六五、五四二	大正 三、 五、二九	仙臺市元寺小路	深川 佐藏
青 葉 糖	一五四、五一三	大正二、 七、一八	同 二日町	千海 一治
淺 岡 豆	一七二、七三六(聯)	大正一四、 七、一四	同 元寺小路	深川 佐藏
石 卷 穗	一四五、三三三	大正一一、 五、二三	石卷市横町	宮本 喜二郎
稻 穂	四四、三三七	明治四四、 一、二三	大河原町	島 新五郎
エスベラント	一六七、八二六	大正一四、 二、二五	仙臺大町二丁目	佐藤 猛夫
小 牛 田	一三五、九六二	大正一〇、一〇、二二	遠田郡不動堂村	加藤 敬男
小 牛 田 饅頭	一六四、四七四	大正一三、一一、二二	同 上	
オスカルド	一七四、五一七	同 一四、一〇、 八	仙臺小田原	若生製菓會社
御 子 持	九七、二四七	同 七、二〇、 四	遠田郡不動堂	加藤 約五郎
カルゲーン	一七六、六三九	同 一五、 一、 八	仙臺小田原	若生製菓會社
金 華 豆 (商標)	二〇〇、〇一五	昭和 三、 六、三〇	同 大町新丁	小野寺 金四郎
金 華 山	一一三、一三二	大正 九、 三、 四	同 東一番丁	齋藤 篤三
皇 國 華	一七四、二五九	同 一四、 九、二八	同 國分町一五二	齋藤 民助
古 郷 錦	二三六、五一七	昭和 七、 九、 二	同 名掛町八八	近江 嘉尾留

マ エ ン	政 岡 豆	政 岡 豆	政 岡 家 本 店	政 岡 の 花	政 宗 煎 餅	松 島 紅 蓮	松 島 煎 餅	三 柵 お こ し	藻 湖 糖	森 の 白 雪	森 の 都	森 の 精	八 木 山	ヨ (ヤマ)	樂 (亀甲)	松 島 音 頭	滋 養 煎 餅
一七三、六〇七	五七、二九三	二〇八、〇〇六	二三三、一九七	一七一、六八三	二〇二、五九四	一九三、四五二	三三三、二二五	一七五、四二六	一六四、二七九	二三六、五一六	一七一、一八九	一七四、二六二	二三一、七八九	二〇四、七二二	一三一、六七三	二三三、一七四	一三九、二四九
大正一四、八、二九	同 二、一、二九	昭和 四、七、九	同 七、二、一八	大正一四、五、二六	昭和 三、一〇、一九	同 二、二、一四	明治 四、一、七、一〇	大正一四、一、一、一三	同 一三、一、一、一五	昭和 七、九、二	大正一四、五、七	同 一四、九、二八	昭和 七、二、二、四	同 四、二、二、二	大正一〇、一、二、二	昭和 七、三、二、四	大正一〇、一、二、一、九
仙臺	同	同	同	同	仙臺市東二番町	同 名掛町	同 東一番町	同 國分町	同 國分町	同 南町	同 廣瀬川橋下	同 元寺小路	同 二日町	宮城縣新田町			
若生製菓會社	深川儀藏	同	同	同	京 敬五郎	近 江 嘉尾留	橋 本 作太郎	齋 藤 民助	平 塚 長藏	近 江 嘉尾留	同	齋 藤 民助	平 磯 正三	早 坂 養五郎	石 垣 悅三郎	門 間 稻四郎	大 森 伴藏

J I Y O	全 勝 餅	磯 衣	龜 甲	鹽 釜 音 頭	鹽 釜 小 唄	鹽 釜 甚 句	鹽 釜 街 道 に 白 菊 う え て 何 を き く	谷 風	谷 風	萩 の 素	六 十 二 萬 石	宮 城 野	瑞 鳳 殿	古 城 の 月	諏 訪 の 花
一二〇、〇八七	一〇一、九四五	二四二、二〇六	二五〇、一一七	二四八、〇六三	二四八、〇六四	二四六、八四六	二四三、四七六	二四四、〇二一	二四五、五〇四	二五一、一七二	二四七、八〇八	二四七、二四三			
大正 九、九、一一	同 八、四、二二	昭和 八、四、四	同 九、一、一七	昭和 八、一〇、三〇	同 同	同 八、九、二九	昭和 八、五、二二	同 八、六、一三	同 八、八、一〇	同 九、二、二五	同 八、一〇、二四	同 八、一〇、一一			
同	仙臺市長町	石巻市仲町	宮城縣角田町	鹽釜町	仙臺市	同 鐵砲町	同 大町五丁目	同 新傳馬町	同 名掛町	古川町					
同	蛸 忠十郎	泉 正之助	録 田 斯吉	平 塚 長藏	深 川 佐藏	江 刺 正壽郎	永 野 榮三郎	江 刺 運治三	遠 藤 文 郎	近 江 嘉吉	高 橋 忠三郎				

わさび羊羹
陸奥の雪
水の都
かき餡
橋見まんぢう
衣笠の雪
マルカン豆
千代の萩
白松が最中

石巻市
同
飯野川町
増田町
仙臺

同
同
菊地善四郎
福田淳
佐藤研
鶴見屋
渡邊勘七
同
早坂恒二

商 登
標 録

元祖
晒よし餡

本舗
市場家本店

陸前大河原町

主 市場徳三郎

電話三十一番

營業種目

バター
ラード
ヘット
杏及莓ジャム
煉乳
洋菓材料

本店

東京市小石川区高田豊川町
電話牛込(三四)三二二七番

星バター商會

東北
營業所
仙臺市東二番町一三一
電話仙臺二九七〇番
主任 正木 彌平

本品位質

斯界の權威

安の最中種

最中種
西京種
掛物種
アイス最中

仙臺市東七番町一四八

丸安輪種店

主 吉岡市治郎

菓子折箱經
木折一式
角丸折箱
木羽折各種
曲物三寶

仙臺市荒町小學校間

佐藤勇藏商店

電話三一九九番甲
第二工場 荒町一八番地

オフセット印刷
美術石版印刷
板紙製造一式

仙臺市名掛町八二

郷家大二郎商店

電話 二七七番
三四〇五番

仙臺市立町
齋兵商店
電話 一二〇七番

鎌田屋
八木長七
仙臺市國分町
電話 七四七番

製菓會社問屋家製造一覽

營業種目	住	所	電話	名	氏
森永製品、ビスケット、千代の花	同	仙臺市元幸小路	三五六一 一三四一	森永東北販賣株式會社	
明治製菓代理店	同	花京院通	二一六五	株式會社三丸商店	
ビスケット製造	同	遣水町	二八八一	帝國製菓仙臺工場	
菓子、原料問屋、マコロン、マルカン豆製造	同	驛前多門通	八七〇	マルカン本店(渡邊勘七)	
和洋菓子問屋	同	鐵砲町	二〇九五	江刺屋本店(江刺正壽郎)	
洋菓子問屋	同	驛前名掛町	二八五	小新堂本店(遠藤文三)	
製菓問屋	同	原ノ町	三七三六	菅原老舖(菅原安治郎)	
同 仙臺萩本舖	同	本材木町	四五一	若生松之助本店	
菓子種、マコロン、おこし製造	同	東十番丁	二三九九	伊藤菓子種工場	
カスタレーラ各種	同	原ノ町	四〇三九	寺澤商店(寺澤春吉)	
各種甘納豆製造	同	名掛町	二一〇	於多富久家(大友幸運)	
和洋菓子問屋	同	元寺小路	一四七二	豆篤商店(齋藤篤三)	

著名關係業者要覽

營業種目	住	所	電話	氏名
砂糖、洋粉、商	同	仙臺市東四番町	三五五一	株式會社 東北糖業商會
同 水 飴	同	立町	一〇〇七	合資會社 齋兵商店
同 同	同	分町	七四七	鎌田屋 八本長七
日清製粉會社、オリエ ンタルイースト代理店	同	新傳馬町	六四三	佐々忠商店(佐々木忠助)
製 餡	同	東二番町	二五二五	望月製餡所
同 雜穀類	同	名掛町	二四八	(庄久)庄司久吉
同 同	同	同	一三四六	目黒製餡所
同 同	同	同	二九七〇	星バター商會仙臺出張所
バター、ジャム、製 菓材料一切	同	東二番町	一八九〇	大泉砂糖店
リス印ペター特約店 砂糖、水飴、洋粉	同	荒町	二七七	郷家大二郎商店
菓子函印刷	同	南光院町	二八一五	羽賀紙函店
ポール函製造	同	荒町	三一九九、甲	佐藤勇藏商店
菓子折箱、三寶、曲物	同	東十番町	三六八九	橋本折箱店

營業種目	住	所	電話	氏名
同 紙函、紙袋、掛紙	同	日吉町	三七八九	櫻井折箱店
同 同	同	名掛町	一八七八	紅貞商店
同 同	同	北一番町	一九七二	紅藤商店
同 同	同	立町	二七九八	製菓仙袋合資會社
同 同	同	北一番町青葉莊	二九二五	眞壁貞次郎商店
同 同	同	東七番町		細谷オフセット印刷所
同 同	同	大佛前		丸安輪種店
同 同	同	南光院町	二八七七	大島商店
同 同	同	荒町		松家商店
同 同	同	本樽町		庄子善三久商店
同 同	同	二十人町		型忠猪瀬吉之助
同 同	同	名掛町器		元木弘八商店
同 同	同	多門通	一〇六八	元木貞助商店
同 同	同	同	八八八	塚本硝子店
同 同	同	十二軒町	三五三五	堀田ガラス店
同 同	同	東二番町	三六六五	二科運之助
同 同	同	同		池田商店

各種甘納豆製造

仙臺市東一番町

玉屋本店

主 鈴木久治郎

電話三四三〇番

仙臺市東二番丁

望月製餡所

主 望月堅太郎

電話二五二五番

仙臺名菓

商登
標錄

九重本舖

仙臺市名掛町町角

玉澤九重總本店

店主 近江嘉尾留

電話 八八〇番

振替仙臺 二八八八番

グリック株式会社
中央製菓株式会社
東洋製菓株式会社
佐久間製菓株式会社
各製菓會社代理店

代理店

仙臺市鐵砲町

和洋菓子問屋

江刺屋本店

主 江刺正壽郎

電話 二〇九五番

仙臺市東九番町

製麵麩專業 小野千秋堂

電話 二五二四番

仙臺市二十人町

菓子形 菓器具式 元木弘八商店

仙臺名菓

宮城の餅

仙臺市新傳馬町

和洋菓子

日進堂本店

店主 江刺運治郎

電話 四二五番

登録商標

仙臺名菓

さんさしぐれ
わしが國さ
ハツトセ
六十二萬石

仙臺市大町五丁目

御菓子司 開化庵本店

電話 一二九番

紹介欄

マルカン本店

仙臺市驛前多門通りマルカン本店は東北屈指の落花生及菓子原料の問屋であるが最近では製菓方面にも更に一段の發展を遂げ、市内原ノ町の同店製菓工場は個人製造家としては最も大なるもので其の製品たるマコロン、諸越、千代の萩等は品質の優秀を以て知られ縣下は勿論遠く北海道、關東、北陸、信越方面に迄販路を有し、仙臺の菓子として獨り同店製品のみが積極的進出を爲してゐる。一面菓子問屋としても同店の業績著しく確固不拔の地聲を確保してゐる。

甘納豆の於多富久家

市内名掛町の於多富久家は各種甘納豆の製造家として東北隨一のものゝで諸官衙、デパートに納入する外仙臺市は勿論東北各地に大量移出を爲し斷然移入品を壓倒してゐる。同工場の設備、施設の完備せる点、大量生産に依る品質價格の合理的統制等は着々と販路を開拓し従來殆んど他地方製品の蹂躪に委せ來つた東北業界に敢然として、仙臺にも優秀製造家の存在を認識させるに至つた。店主大友幸運氏は東北人には珍らしい進取的精神の所有者で、製造家の乏しい東北業界に特異の存在であり然も製造家としての要諦を如實に事業の下に具現させてゐる年齒未だ少壯大いに其の活躍を期待されてゐる。

寺澤のカステーラ

市内原ノ町の寺澤春吉氏も新進製造業者の花形で十年前既に移入製品に對抗して包装カステーラの製造を開始し爾來あらゆる辛酸を経て製品の改善

と販路の擴張に努力した結果今日では東京方面の移入品を漸次驅逐するの好績を示してゐる。仙臺始め東北各地業界の通弊とも云ふべき所謂下り菓子偏重の習慣が業界を萎微せしむる原因の一であるが、これは良き製造家の尠いことの結果と卸問屋方面の理解が比較的乏しいことにも依ると云はれてゐるから吾人は大友、寺澤兩氏の如く優秀なる製造家に對して業者は大いに應援的態度を以て其等の製品を努めて擴賣する様にしたなれば東北の業界も漸次發展し得らるゝ事と信じてゐる。

菓子種の伊藤

市内東十番町の伊藤製種工場も東北業界には珍らしい製造家の一人、從來仙臺地方名産九重の菓子種類を主に製産し來つたが先年來製菓方面へも進出しマコロン御家寶おこし類を製造し、堅實なる營業方針の下に着々と販路を開拓してゐる。菓子種類には既に一般業者の定評ある處であるから今後製菓、製種共に目覺しき躍進を示すであらうことを期待される。

星バター商會

東京星バター東北營業所は市内東二番丁に在る市内に於ける唯一の製菓原料商としてバター、ジャム、油脂類、煉乳及洋菓材料、菓子材料及附屬原料等一切を取扱ひ東北六縣下に縱横無盡の活躍振りで營業所開設以來未だ五六年にも不拘確固たる地盤を占めるに至つたことは店主正木彌平氏の如才無い外交と常に業界に對する裏面の努力が業者に好感を與へてゐる結果であると云つて良い。

佐藤勇藏商店

市内荒町の菓子折箱商佐藤商店は業界には特に密接な關係があり、品評會、博覽會と云へば直ぐに出品用の菓子折箱の注文が殺倒する程で、美術菓子箱は何と云つても佐藤折箱店の獨舞臺である菓子の品格と美觀を添えるためには最も優美な容器と外装を要する意味に於て同店の製品は推賞して良い。

最中種の丸安

名物としての最中は菓子類中に最も多いものゝ一つである。現に仙臺市、石巻市の最中だけに見ても實に其の生産價格は莫大なるものである。其の最中の生命とも云ふべき最中種の良否は直ちに製品としての最中の死命を制するものであらう。市内輪種業者中の第一人者吉岡市治郎氏の生産する丸安の最中種は特に優良なもので知名菓子舗に不拔の信用を博してゐる。同氏の氣焔に依れば地方で良い種が出来ぬといふ菓子業者の言は甚だしい誤りであつて菓子業者が單に値段の安いものばかりを好む結果良い製品を生産出來ないといふに在るが一理ある言葉であらう。業者は態々東京あたりからの高いものを能事とせず大いに地元の良いものを生産させる様覺醒することが肝要であらう。

元木弘八商店

市内二十人町元木弘八商店は菓子形、製菓器具類一切を扱ひ、名掛町の元木形店と共に其の東北六縣下に確實なる製品を供給することに多大の信用を得てゐる。店主元木弘八氏は資性濃厚、營業に熱心であるのと業者の爲に常によき相談相手となつて盡す處が多い關係上地方に絶大なる好評を博し業績亦着々と進展の一途を進んでゐる。

國産イーストの霸王オリエンタルイースト

製パン業界に革命的躍進を劃したイーストの出現と其の採用とは製パン工程を極めて平易化したと同時に時間、燃料等の節約、優良製品の生産等其の齎らす利便は業者を益する事多大である。更に國産イースト・オリエンタルイーストの出現は從來の輸入乾燥イーストの欠点たる價格の点、發酵力の弱き点等を完全に解決し、安價にして然も發酵力の極めて強く外國品を遙かに凌ぐ優秀生イーストを我國製パン業者に供給する

ことに依て業者の受くる便益は洵に莫大なものである。現在我國に於ける酵母工業界の覇者オリエンタル酵母工業株式會社は本社を東京市神田區錦町に置き工場を板橋區志村に置き、近代的化學工業の粹を採つた東洋一の完備せる設備を有し、酵母化學界の權威者の監督の下に熟練せる技術者に依つて大量に生産され全國に配給されるものであり、主腦部の化學者は常に先進歐米諸國の酵母工業界を視察して参考とし製品の上上に留意を怠らない。然も過般歸朝せる同社幹部の視察談に依れば同社製品が寧ろ先進地の其れを既に凌駕し居ることを立證されてゐる程である。オリエンタル・イーストの販賣は全國主要都市に代理店を通じて爲されてゐるが製パン業者は優良なるパンを常に顧客に供給する爲には性能良く發酵力強きオリエンタル・イーストの愛用を切にお勧めする。

斯界に貢獻する白鳥所長

オリエンタル酵母販賣所長白鳥三朝氏の名は、製パン業者の間に熟知されてゐる處であるが、氏は製パン技術及イースト化學の實際家であり權威者であること、更にオリエンタル・イースト普及の傍ら全國を遍歴して直接製パン業界に理論と實際の上から懇切なる指導を與へられてゐるからであつて、氏の燃ゆるが如き熱意と該博なる製パンに關する蘊蓄を傾倒する製パン講習會は各地に於て歡迎を受け氏の指導に依り啓發された地方製パン業界の向上はけだし多大なものである。資性潤達任俠に富み情誼に厚く僅か一回の講習を受けたに過ぎぬ製パン業者にまで其の徳を敬慕されてゐるといふ。

羊羹包裝の釜屋

山下式衛生紙罐のアルミニウム箔貼の發明は羊羹包裝界に一大革命を齎したばかりで無く我國の名産菓子界に年々數百萬圓の利益を留保したと云つて過言でない。如何となれば我國の名産菓子中の大半を占むる羊羹の梅雨夏季に於ける變敗に依つて蒙る損害は莫大であつたこと、及び衛生紙罐の出現に依り之等の變敗を完全に防止し長期の保存に耐え得るに至つた利益を通算する洵に偉大なる發明である。更にこの發明が我が東北の一菓子業者の手に依つて爲されたことは洵に欣びとし誇りとする。この發明は山元オブライトの發明で知名な秋田縣横手町木村屋商店山下九助氏の考案に成るものである。

釜屋商店がこの衛生紙罐の全國的普及に着手してより今日、有名なる名物羊羹は殆んど衛生紙罐を採用してゐる事實に依つても如何に權威ある製品であるか、窺はれやう。

同紙罐の特長とする處は

- 一、内面がアルミ箔貼りであるため外氣を防ぎカビ、シヤリ等を生ぜず變味腐敗の虞れ無きこと
- 一、使用簡便にして費用最も低廉、外觀は竹皮を包裝したものと少しも變らず羊羹包裝の觀念を破らぬこと

一、流し込み器具を使用すれば最も簡単に一時に大量の生産と包裝が出来ること
等であるが詳細は直接、東京市芝區新橋六丁目釜屋商店に照會すれば現品見本及説明書を贈呈すると。

代表製品
都 千 鳥
錦 あ ら れ
ピーナ あ ら れ

宇都宮市中河原町

製造本舖
野澤製菓工場

主 野澤 卯三郎
電話 三七一七番

羊羹包装界の一大革命!

新案
特許
羊羹包装紙

紙アルミニウム箔貼

東京市芝區新橋六丁目

元祖
釜屋商店

御申越次第實物見本及型錄送呈
電話 芝 一六三七番
振替 東京 四七二七番

山元オブライト

飴菓子包装用
和生、洋生用
衛生、麗美な
オブライトは

山元と御指命下さい。

山元オブライト株式會社

東京市世田ヶ谷區三宿町
電話青山(二六)一五八八番

臺灣製糖株式會社 東京出張所

東京市丸ノ内三丁目四
有樂館ビルディング内

明治製糖株式會社
東京事務所

東京市京橋區京橋二丁目

大日本製糖株式會社
東京出張所

東京市麴町區八重州町一ノ一
昭和ビルディング内

鹽水港製糖株式會社

東京市日本橋區通一丁目

昭和製糖株式會社

東京市丸ノ内昭和ビル内

沖繩製糖株式會社

東京市丸ノ内興銀ビル七階

東部製粉共販組合

東京市日本橋區通一丁目野村ビル

東京市本所區太平町一丁目

製菓問屋 **金澤商店**

主 金澤彌三郎
電話墨田二六二三番

日英ドロップス
高級焼物
ミルクウエフアース

東京市深川區常盤町一丁目

武田製菓合會社

武田富藏
電話本所七三一番

各種おこし
焼物類製造

宇都宮市西原町

渡邊製菓所

主 渡邊貞一郎

衛生ポーク
高級焼物

宇都宮市三條町

青柳製菓所

青柳竹次郎

關東名産

富貴の里

宇都宮市塙田町

本舖 **濱田屋菓子舖**

電話三〇七五番

實用新案

汜狀菓子詰込器第一五二〇〇七號
スイートポテト器第一五六四一九號

東京市神田區大和町六

製菓器
具問屋

淺井商店

電話浪花 四〇三番
振替東京一四〇一番

特許羊羹用

八千代罐

△八千代罐利用の製品は永久貯藏に堪へ絶対に腐敗變質せず
△八千代罐は羊羹流込用として價格低廉体裁優美なり

御申込次第商報送呈

直輸入商

東京市芝區佐久間町一ノ五二

八千代罐
一手販賣元

川井商店

電話 芝 四六二番
振替東京六七九四番

明治製菓株式會社代理店

仙臺市花京院通七五



株式會社

三

丸

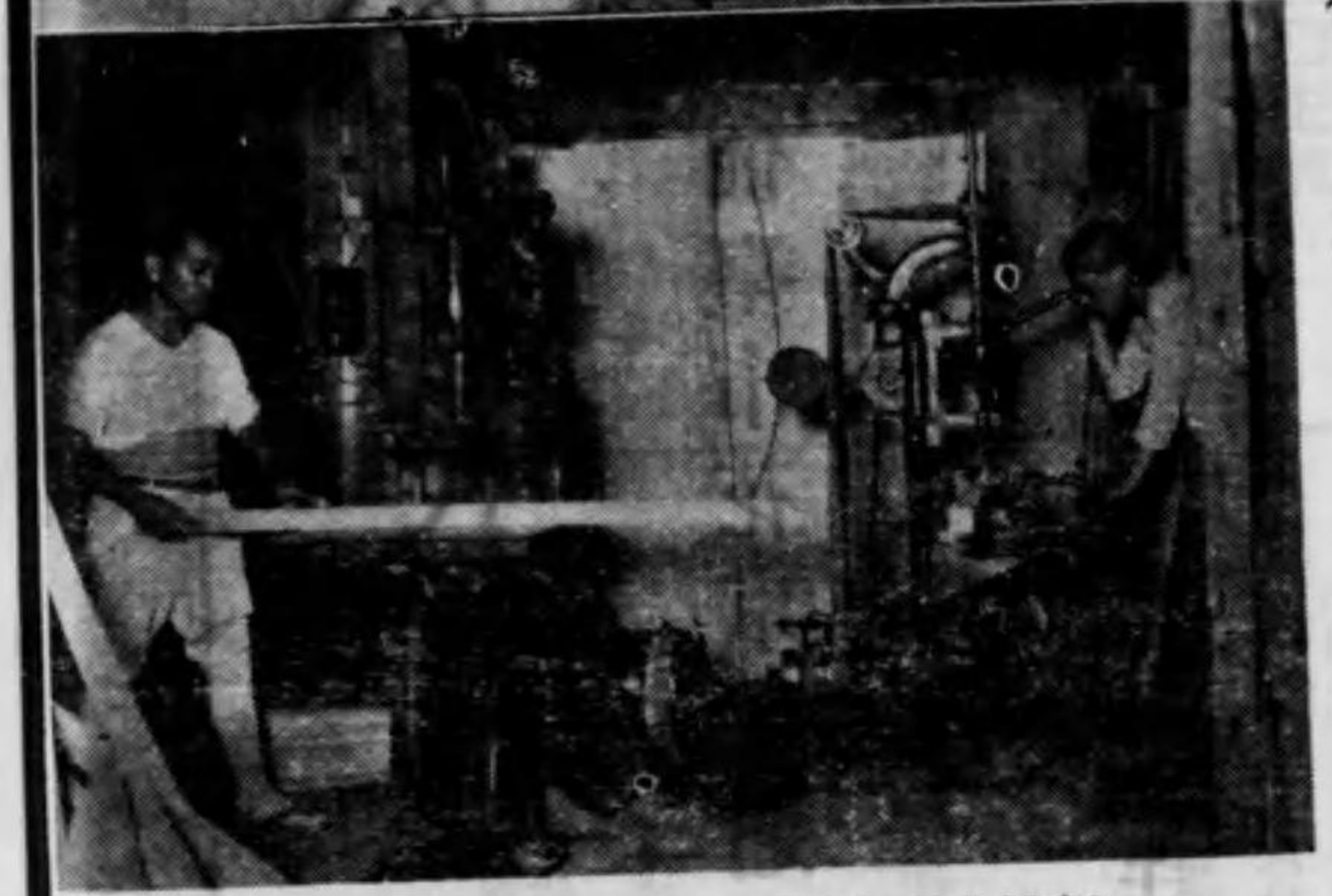
商

店

電話 二五六五番

營業種目

菓店陳列
子頭列
柵裝飾
節飾
ウインドウ
設計
其他陳列用品一切



(高橋陳列製所工場、木工部、製板部)

高橋陳列製所
所主高橋善藏
仙臺市多門通九番地

昭和十年五月十五日印刷
昭和十年五月二十日發行

東北菓子食料新聞第三十一號
宮城縣菓業要覽

不許
複製

【定價金壹圓】

編輯人 大山積善
 發行人 大山積善
 印刷人 仙臺市青葉莊 子良雄
 印刷所 仙臺市青葉莊 細谷印刷所
 電話二、九二五番

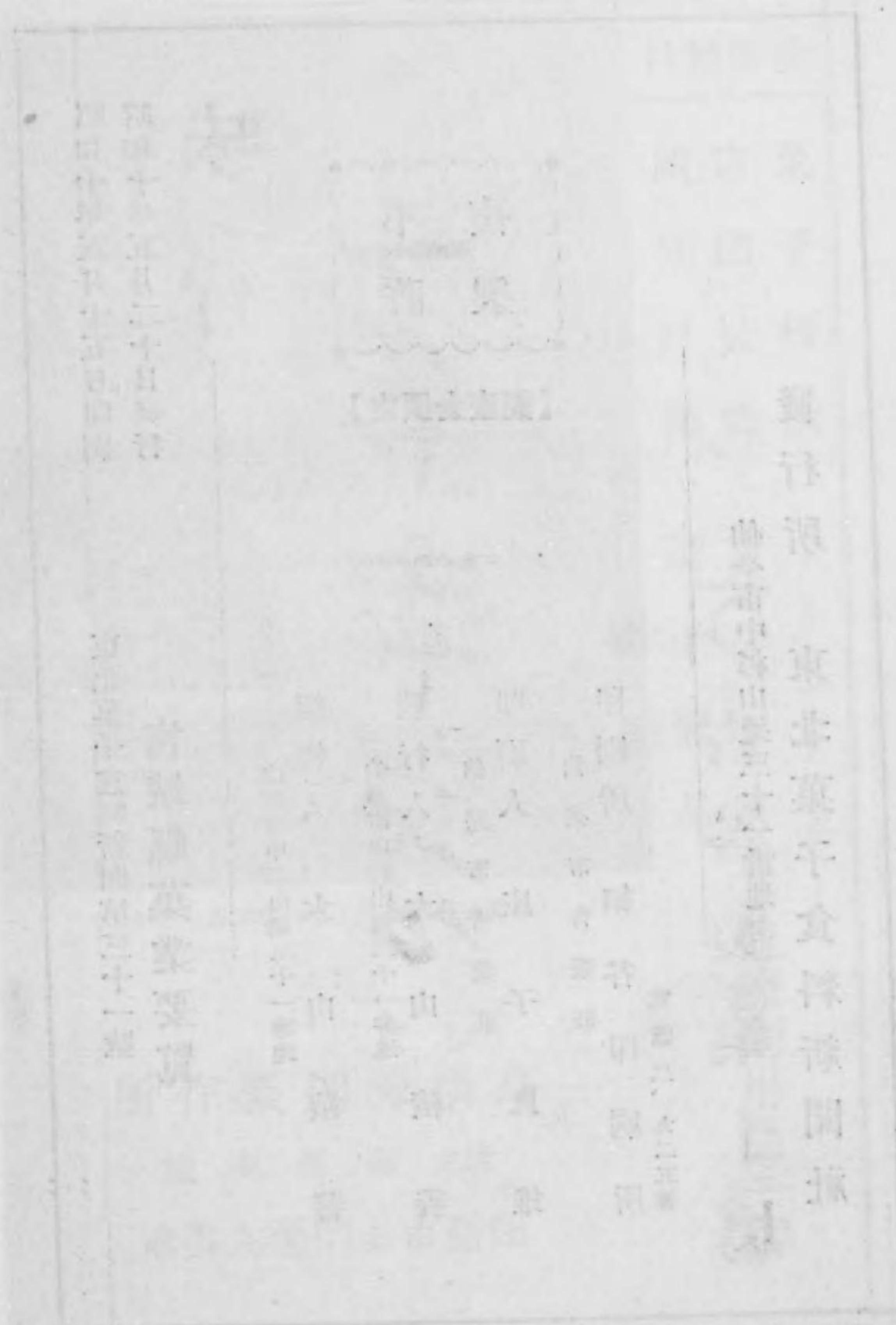
發行所 仙臺市中杉山通三十一番地
東北菓子食料新聞社

味
で知られた

スルヤのキヤラズル

札幌市

株式會社
可古谷製菓工場



美 味 榮 養 の 王

明 治 巧 巧 糖 餅

ミルキョクキヤラメル
ストロベリーキヤラメル



銀の^{ぎん}上衣^{うはぎ}に 包^{つつ}んだ肌^{はだ}は
甘^{あま}くほんのり かすかに苦^{にが}く
とろりあなたの お唇^{くちべ}で溶^とける
わたしや明治^{めいじ}の チョコレート



姉 妹 品

ミルキョクキヤラメル
ストロベリーキヤラメル

明 治 製 菓 株 式 會 社

終